

平成25年度 市民の幸福に関する 意識調査

集計結果



平成26年3月

天草市

目次

1 調査概要	1
2 調査項目	1
3 調査結果	2
(1) 単純集計結果	2
属性	2
① 直観的な幸福度について	4
② “4つの分類”の重みづけ(重要度)について	5
③ “12の項目”に対する満足度(実感や考え)について	10
(2) クロス集計結果	18
男女別	18
年代別	21
地域別	25
職業別	29
(3) 市民総幸福量の算出	34
4 まとめ	36
(1) 単純集計結果より	36
(2) クロス集計結果より	38
資料1 市民の幸福に関する意識調査アンケート調査票	40

1 調査概要

①調査目的

天草市民全体の幸福量(市民幸福量)に関係すると考えられる事項について、市民の実感や考えなどをたずね、明らかにすることで、市全体の幸福量をより増やしていくための施策につなげる。

②調査対象

20歳以上の市民 2,000人

③抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

④調査方法

郵送配布、郵送回収

⑤回収結果

812(回収率:40.6%(前回 41.4%))

⑥調査時期

平成26年1月

2 調査項目

熊本県民の幸福量を測る総合指標＝「県民総幸福量(AKH:Aggregate Kumamoto Happiness)」算出に必要なデータ収集のために行った調査項目により調査を実施した。

直観的な幸福度について [問1]

現在の「直観的な幸福度」について、「感じている」「やや感じている」「どちらでもない」「どちらかといえば感じていない」「感じていない」の5段階で質問。

“4つの分類”のウエイト(重要度)について [問2]

幸福要因の“4つの分類”(「夢を持っている」「誇りがある」「経済的な安定」「将来に不安がない」)について、幸福の全体を「10」点とした場合に、それぞれのウエイト(どれを重視するかの度合い、重要度)が何点になるのかを質問。

“12の項目”に関する満足度(実感や考え)について [問3]

幸福要因の“12の項目”に関し、それらに対する実感や考えを5段階(「感じている」～「感じていない」または「持っている」～「持っていない」)で質問。この問で把握する実感や考えを回答者の「満足度」と捉える。

属性 性別 [問4]／年代別 [問5]／地域別 [問6]／職業別 [問7]

3 調査結果

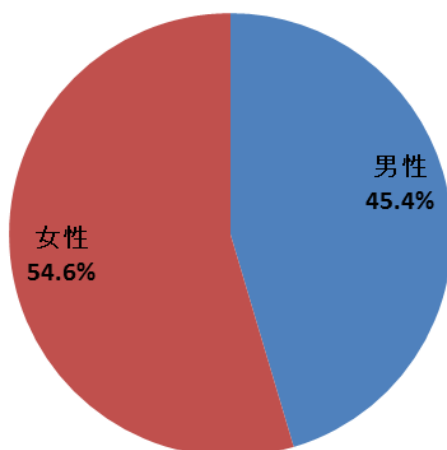
(1) 単純集計結果

各問及びその回答は、次ページ以降のとおりである。

なお、いずれも無回答者の数を除いて集計した結果である。

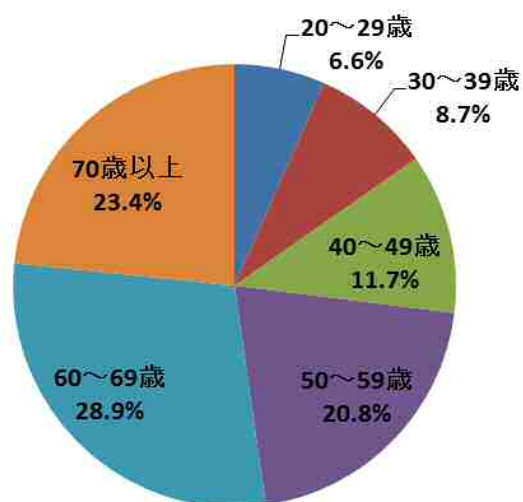
属性

【性別】



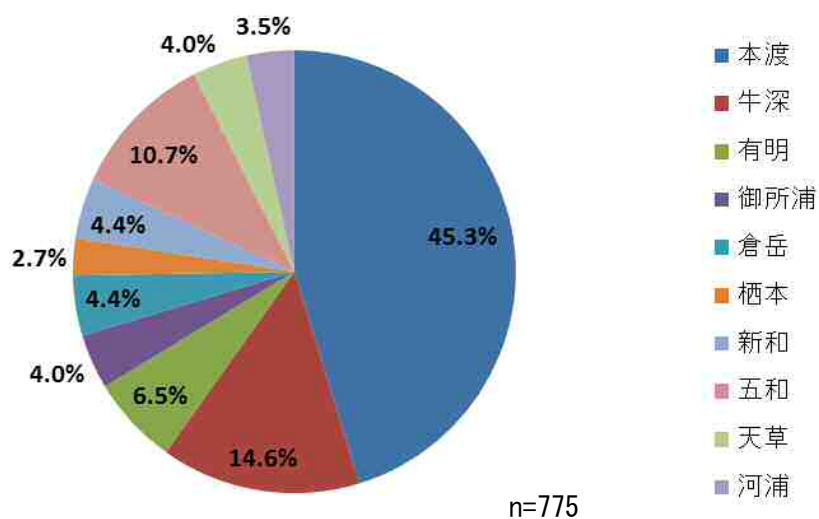
n=806

【年代別】

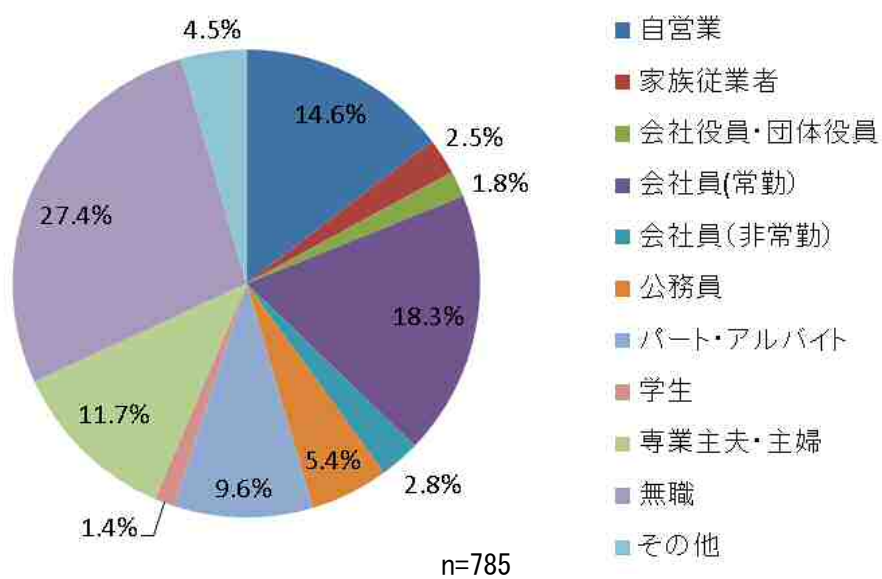


n=804

【地域別】



【職業別】

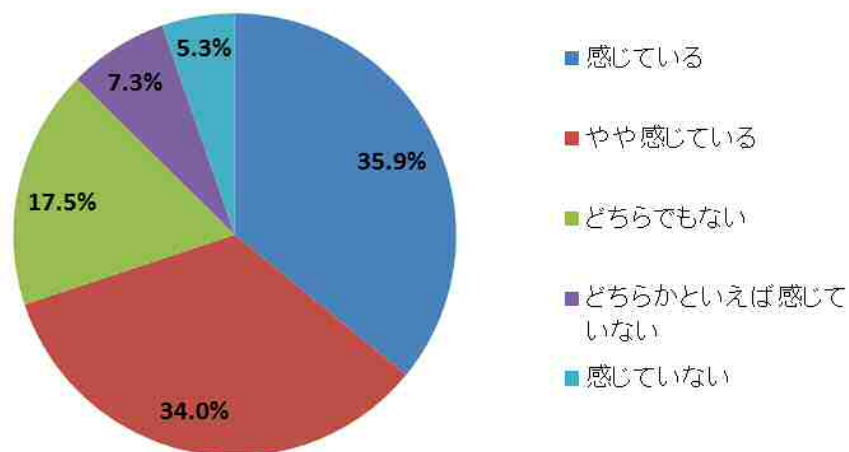


①直観的な幸福度について

現在、幸せと感じているか、という「直観的な幸福度」を5段階評価で質問した。
「感じている」及び「やや感じている」を合計した「幸福」だと感じている割合は、69.9%であった。
平成23年度と比較すると、「感じている」人の割合が0.9ポイント減っているが、「感じていない」
「どちらかといえば感じていない」という人の割合低下の方が目立つ。

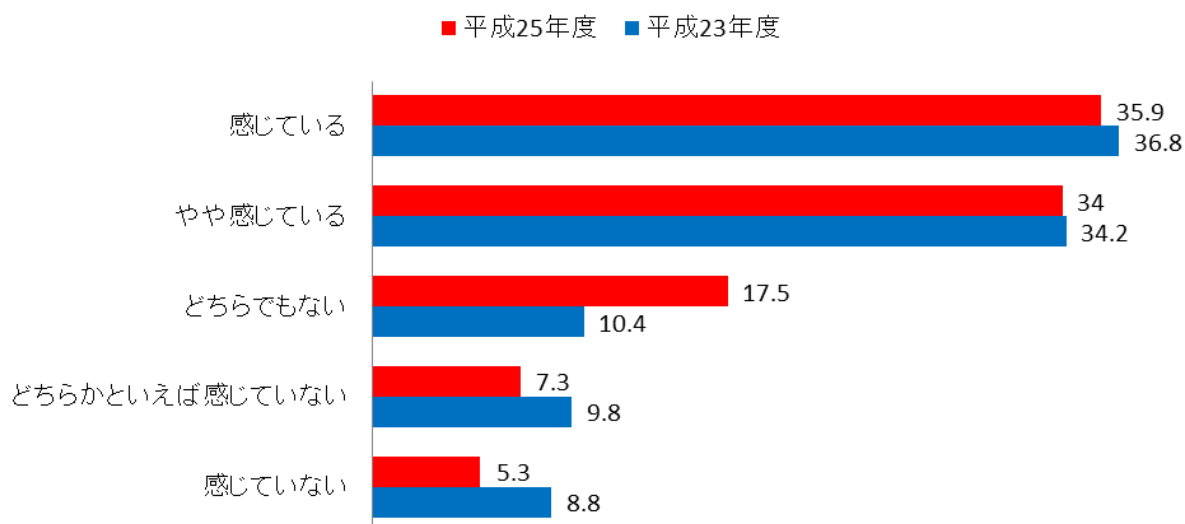
【問1】現在、あなたは幸せだと感じていますか。

最も当てはまるものを1つ選んで、番号に「○」をつけてください。



n=771

【平成23年度との比較】



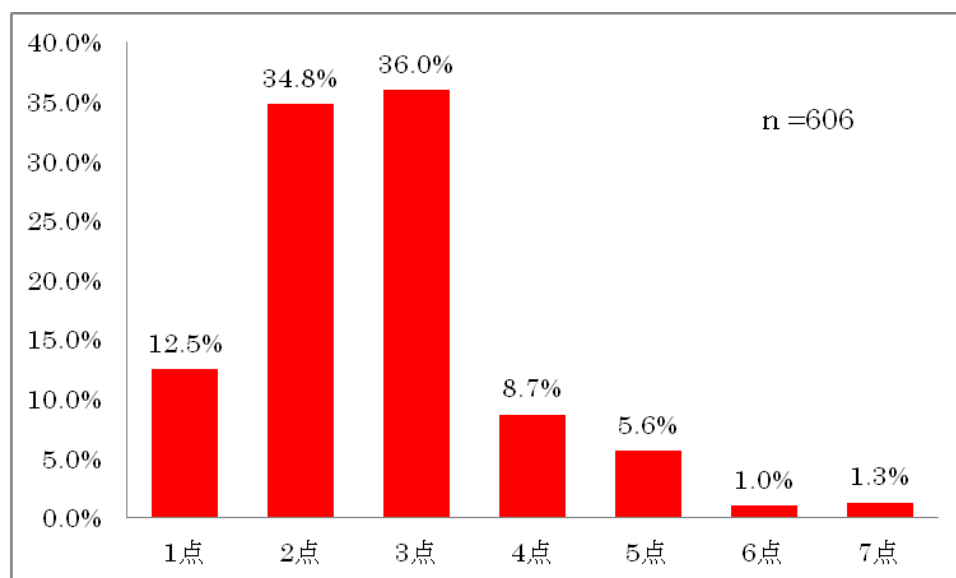
②“4つの分類”の重みづけ（重要度）について

幸福要因の“4つの分類”（「A 夢を持っている」「B 誇りがある」「C 経済的な安定」「D 将来に不安がない」）について、幸福の全体を「10」点としたとき、AからDの重要度（どれを重視するか degree、重みづけ）がそれぞれ何点になるのかを質問した。なお、集計に際しては“4つの分類”のすべてに1点以上のウエイトがつけられ、かつ合計が10点となった回答を対象とした。有効回答数は606件であった。

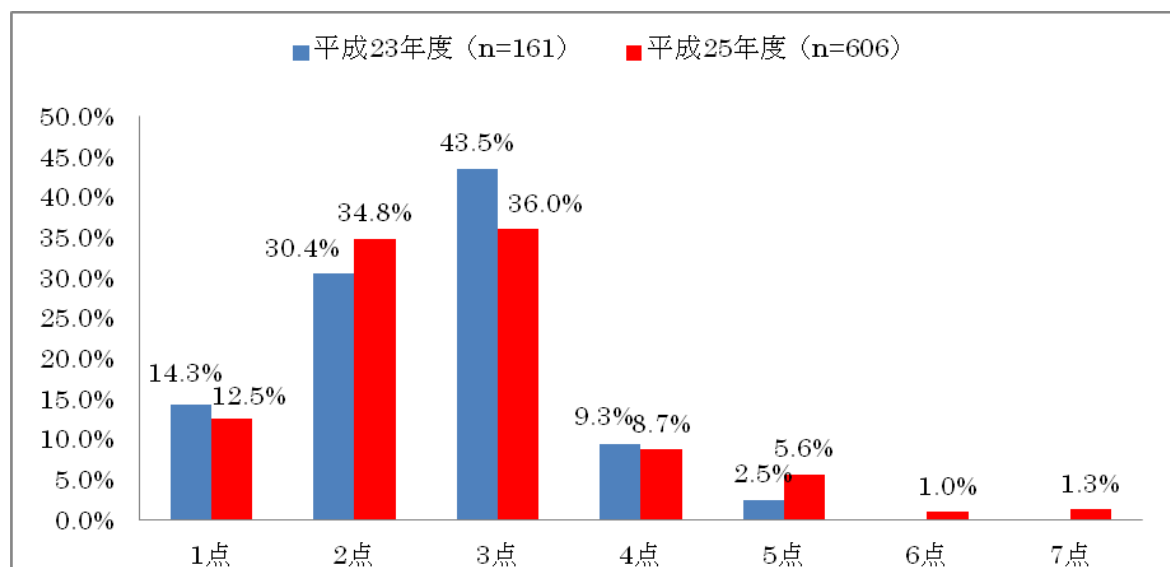
【問2】あなたの幸福の全体を「10」点としたとき、A～Dの“4つの分類”の重要度（どれを重視するか degree、重みづけ）は、それぞれ何点になりますか。

【分類】 A 夢を持っている

【項目】 ア 家族関係 イ 仕事関係 ウ 教育環境 平均値 2.68



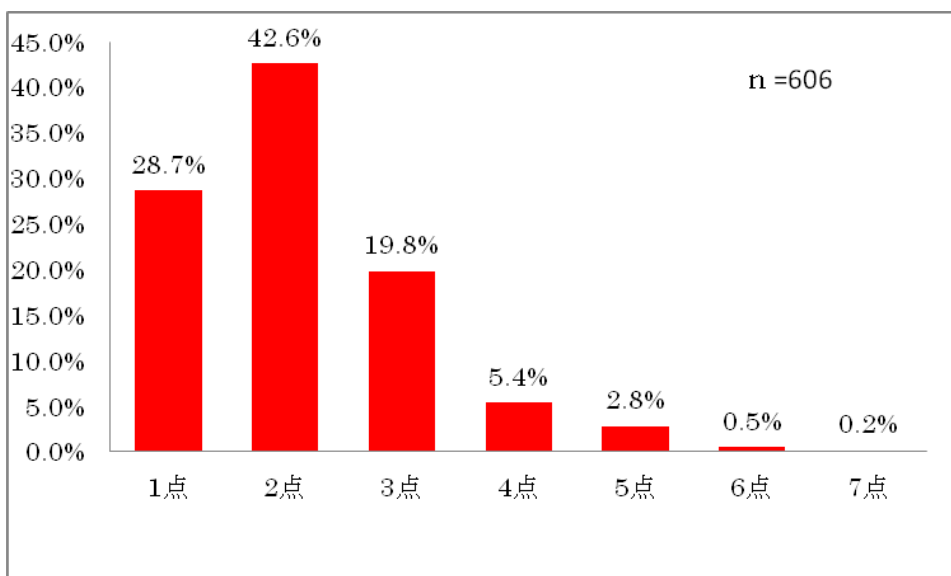
【平成23年度との比較】



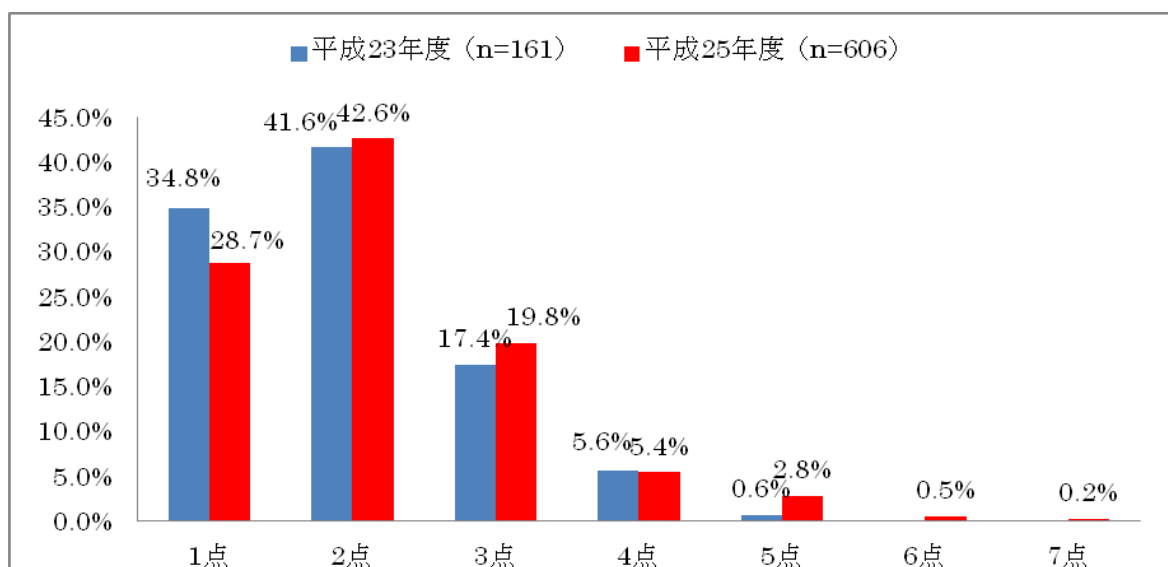
[分類] B 誇りがある

[項目] ア 自然資源 イ 歴史・文化 ウ 地域社会とのつながり

平均値 2.13

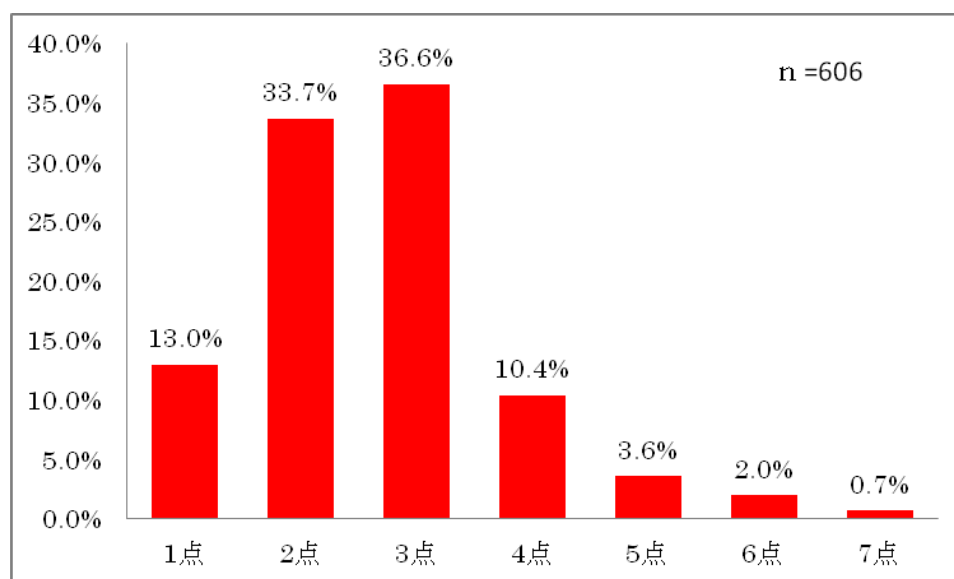


【平成23年度との比較】

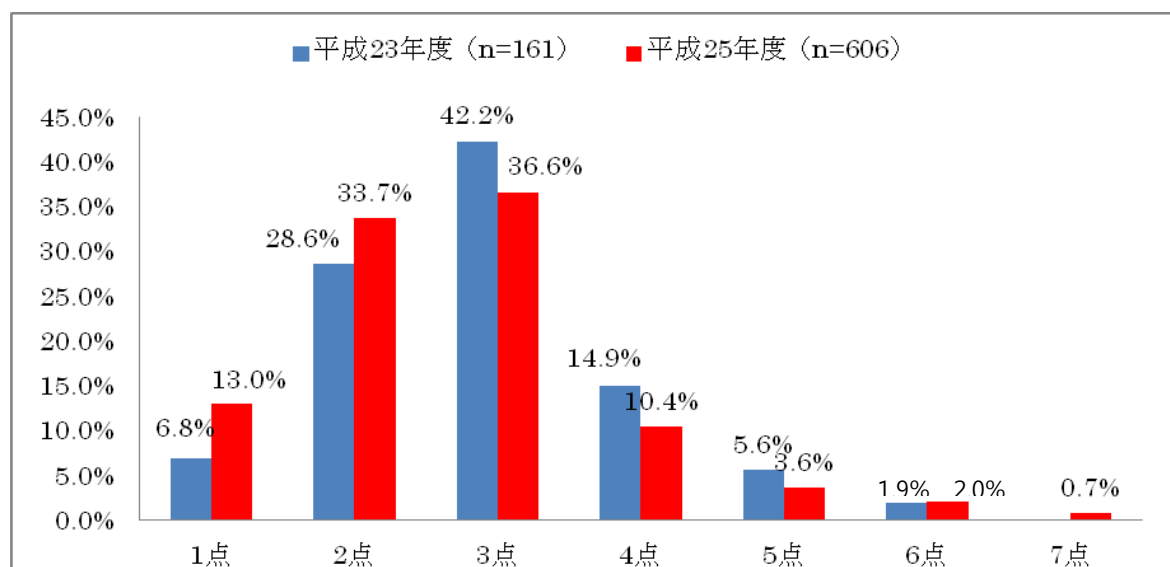


[分類] C 経済的な安定

[項目] ア 家計所得 イ 消費活動 ウ 住まい 平均値 2.67



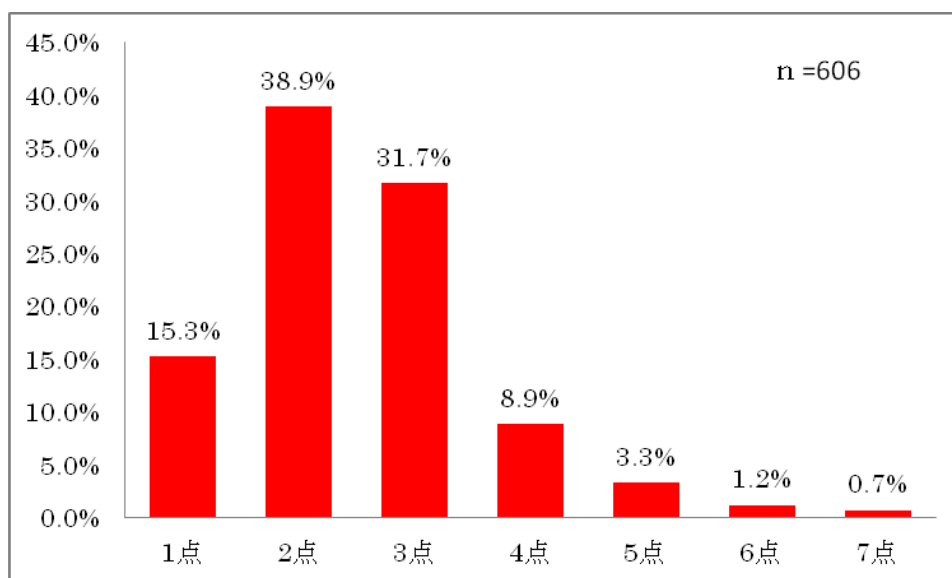
【平成23年度との比較】



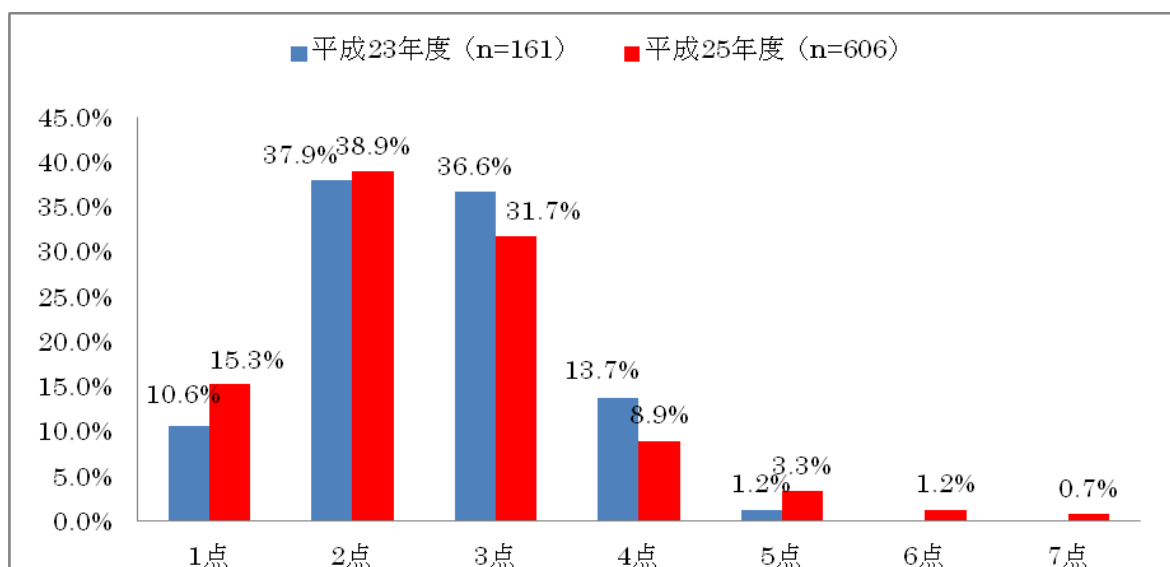
【分類】 D 将来に不安がない

【項目】 ア 心身の健康 イ 食と生活環境の安全 ウ 防災・治安

【平均値】 2.52



【平成23年度との比較】

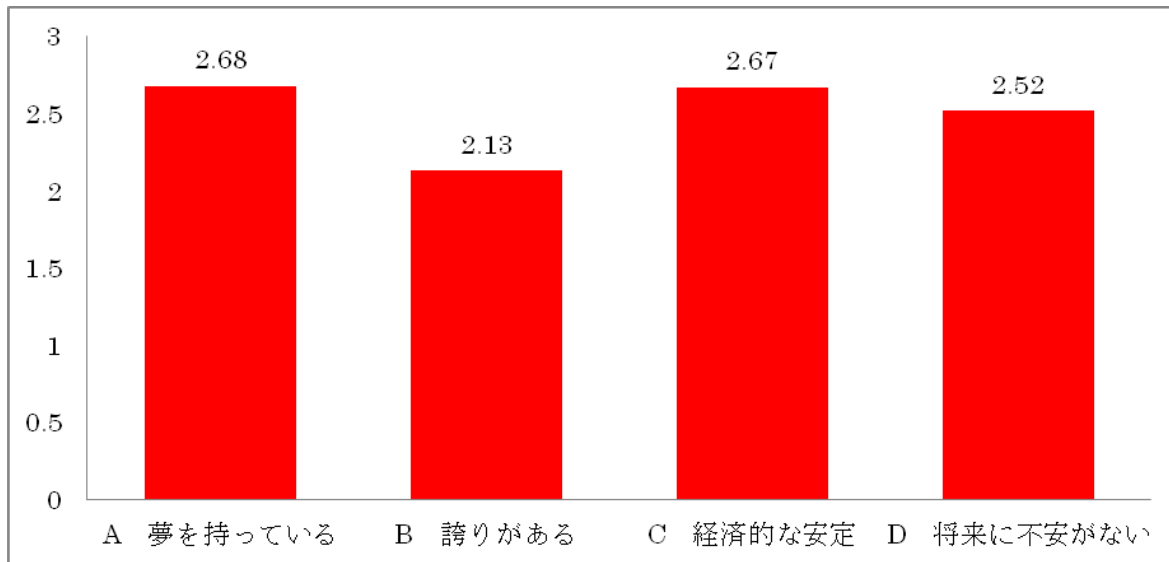


“4つの分類”のウエイト（重要度）について

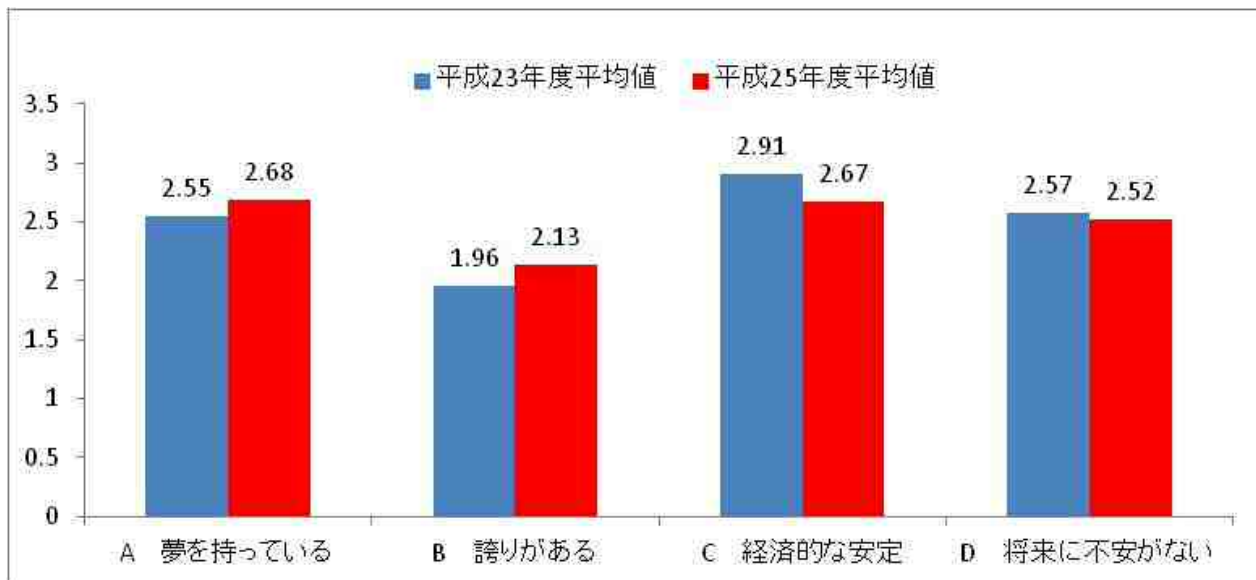
“4つの分類”のウエイトを整理したのが次のグラフである。

平成23年度と比較すると、「C 経済的な安定」と「D 将来の不安」のウエイト(重要度)が下がり、「A 夢を持っている」と「B 誇りがある」のウエイト(重要度)がやや高くなっている。

＜“4つの分類”のウエイトの平均値＞



【平成23年度との比較】



③ “12の項目”に対する満足度（実感や考え）について

幸福要因の“12の項目”に関して、それぞれに対する実感や考えを5段階で答えてもらった。
結果は次ページ以降の図のとおりである。

円グラフは、それぞれの回答数の割合を示している。

また、**満足度平均値**は、「感じている（または、「持っている）」を5点、「やや感じている（または、「少し持っている）」を4点、「どちらでもない」を3点、「あまり感じていない（または、「あまり持っていない）」を2点、「感じていない（または、「持っていない）」を1点として、それらの平均値（加重平均）を示している。なお、集計に際しては、“12の項目”のすべてに回答があったものを対象とし、有効回答数は760件であった。

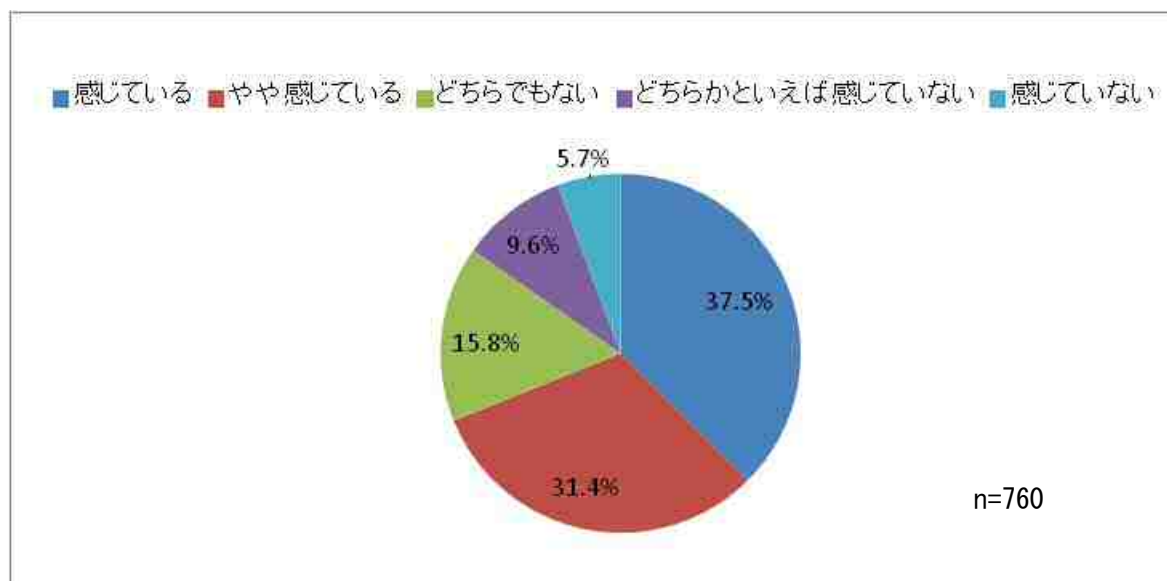
【問3】次のそれぞれの項目について、最も当てはまるものを1つ選んで番号に「○」をつけてください。

【分類】 A 夢を持っている

【項目】 ア 家族関係

あなたは、家族で叶えたいことや、家族に叶えてもらいたいことなど、家族のことで将来の夢を持っていますか？

満足度平均値 3.86

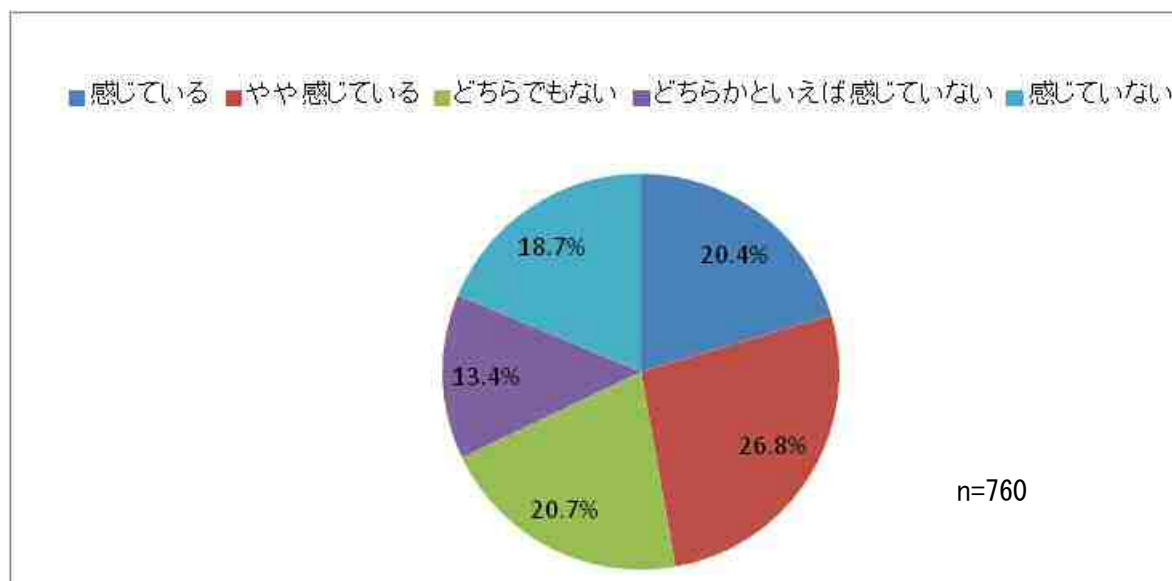


【項目】 イ 仕事関係

あなたは、仕事※のことで将来の夢を持っていますか？

※仕事……パート・アルバイトや社会参加活動、ボランティア活動などを含む

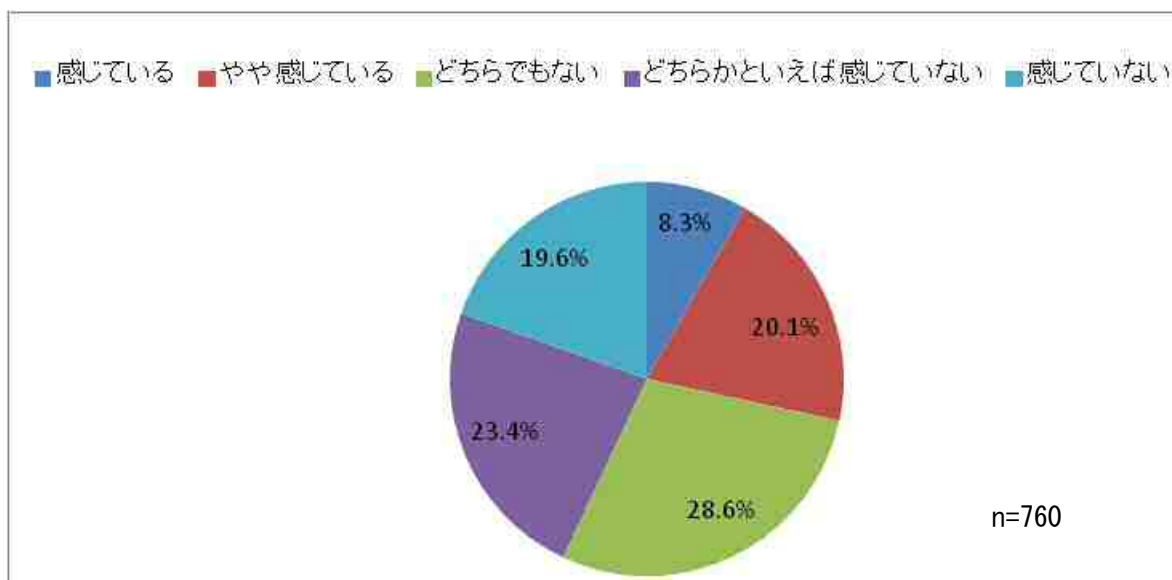
満足度平均値 3.17



【項目】 ウ 教育環境

あなたは、将来の夢の実現に向けて学べる環境にあると感じていますか？

満足度平均値 2.74



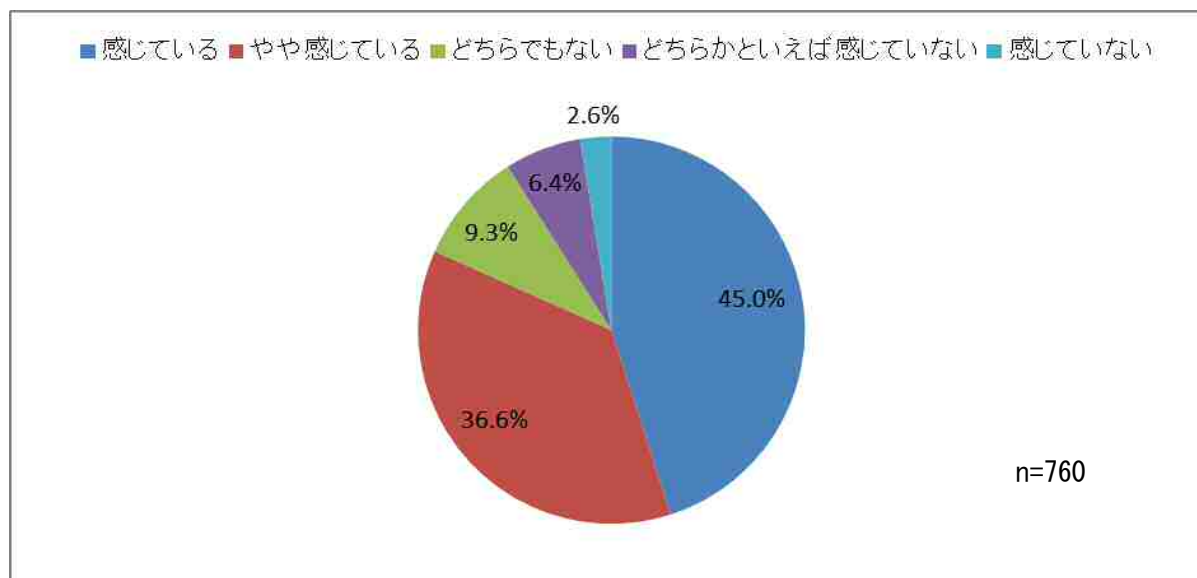
[分類] B 誇りがある

[項目] ア 自然資源

あなたは、地域の自然※を素晴らしいと感じていますか？

※地域の自然……山、海、河川、森林など

満足度平均値 4.15

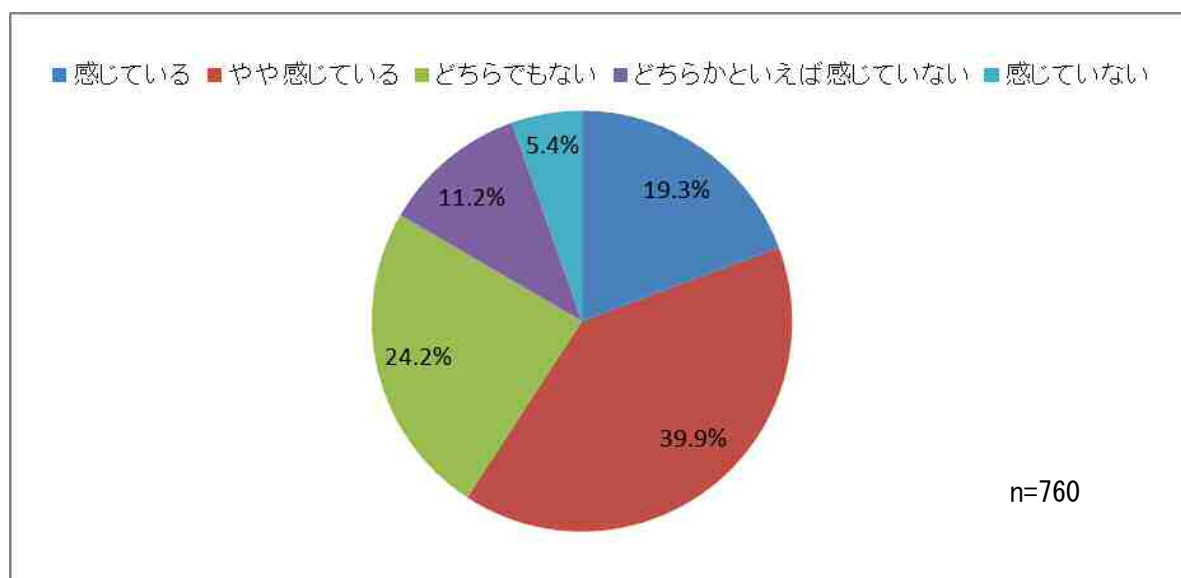


[項目] イ 歴史・文化

あなたは、地域の歴史や文化※に誇りを感じていますか？

※地域の歴史や文化……歴史的な建造物や史跡、伝統芸能、伝承文化、芸術文化など

満足度平均値 3.57

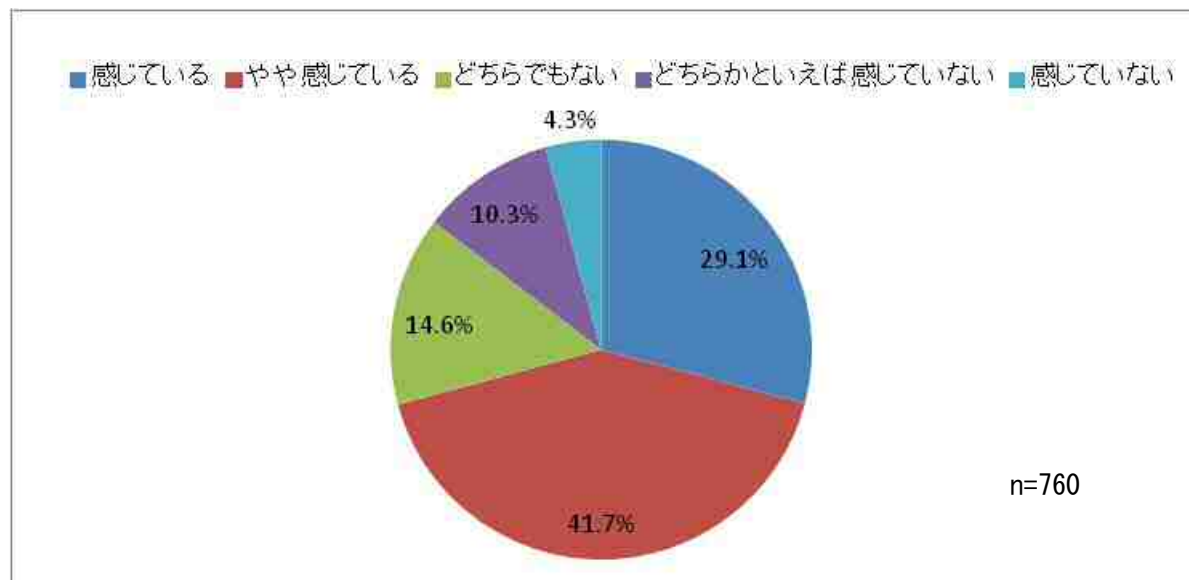


[項目] ウ 地域社会とのつながり

あなたは、地域社会とのつながり※を感じていますか？

※地域社会とのつながり……近所づきあい、地域の行事・ボランティア活動への参加、
友人・知人との交流など

満足度平均値 3.81

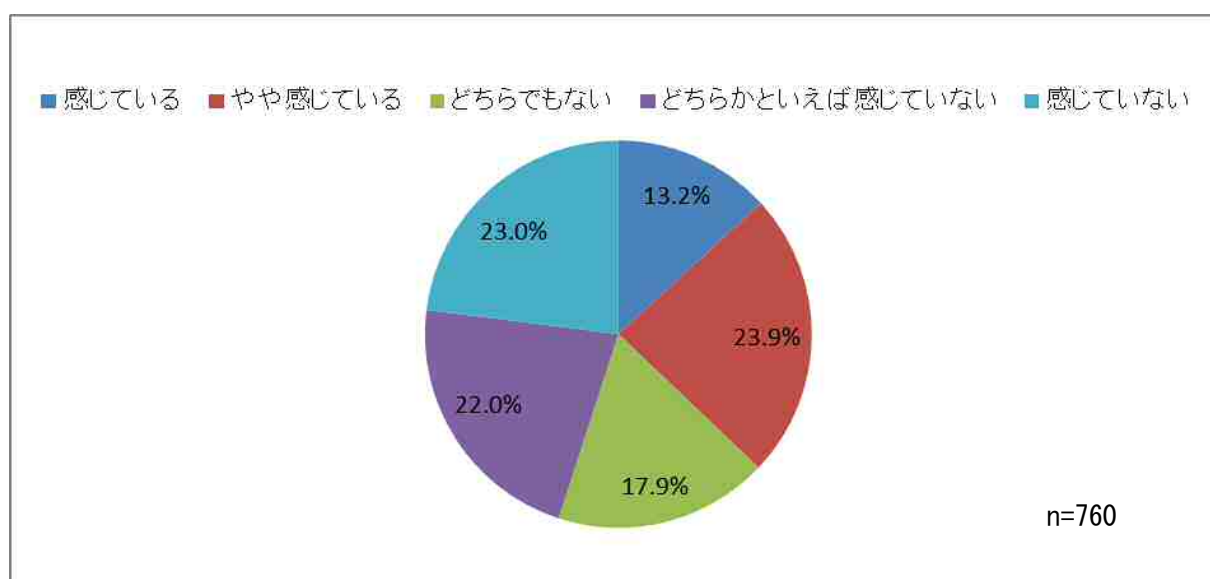


[分類] C 経済的な安定

[項目] ア 家計所得

あなたは、必要な所得や収入が得られていると感じていますか？

満足度平均値 2.82

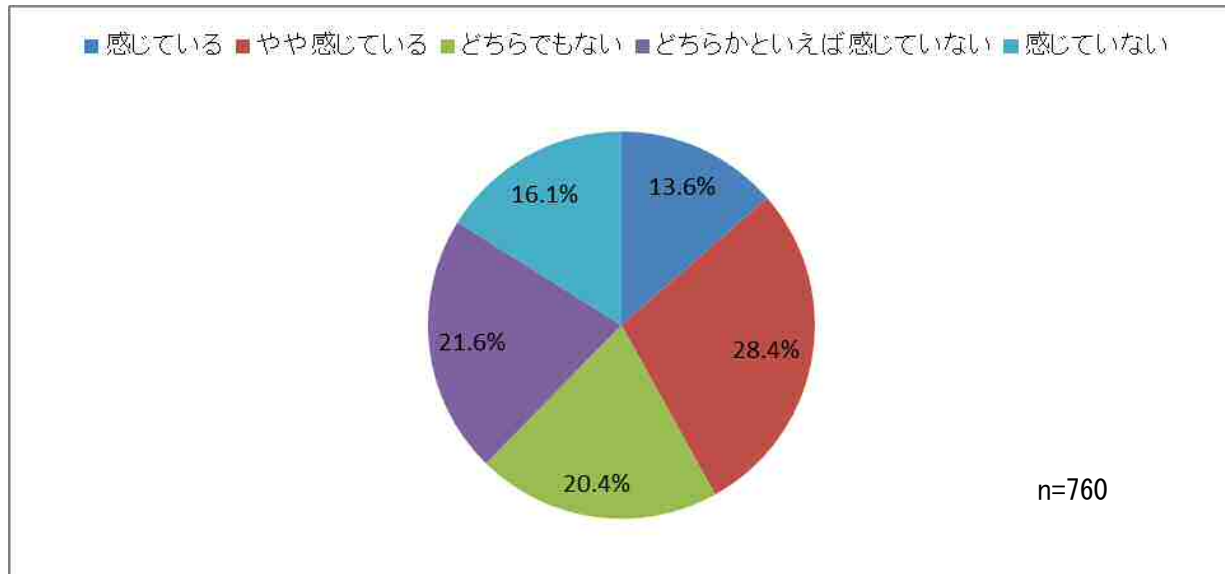


【項目】 イ 消費活動

あなたは、必要なモノやサービス※を購入できていると感じていますか？

※サービス……レジャーや余暇活動を含む

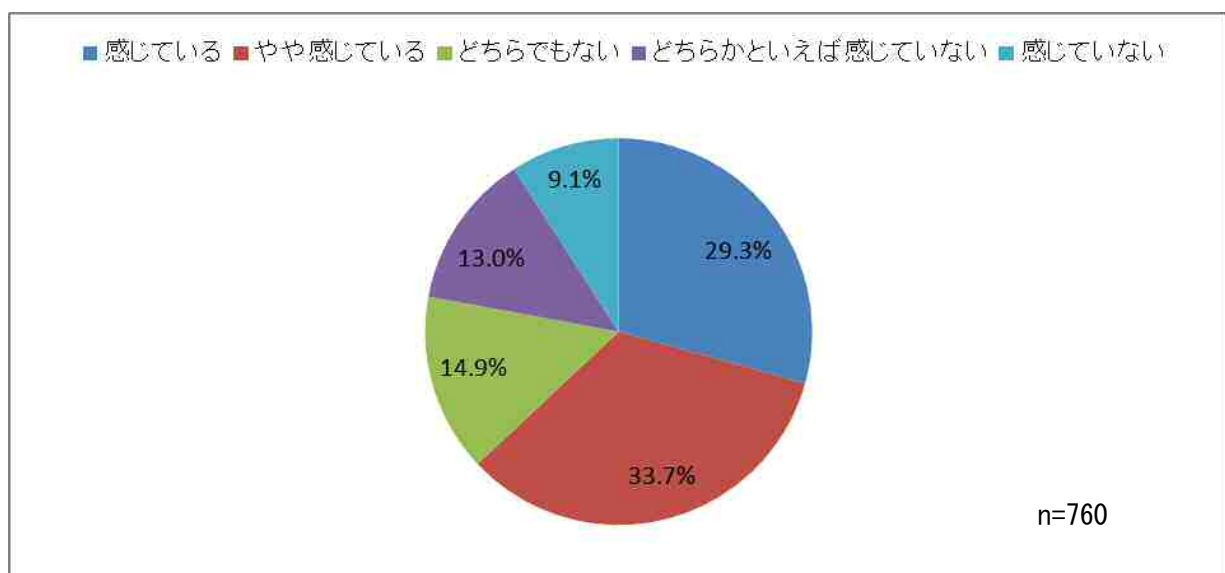
満足度平均値 3.02



【項目】 ウ 住まい

あなたは、今の住まいに快適さやゆとりを感じていますか？

満足度平均値 3.61

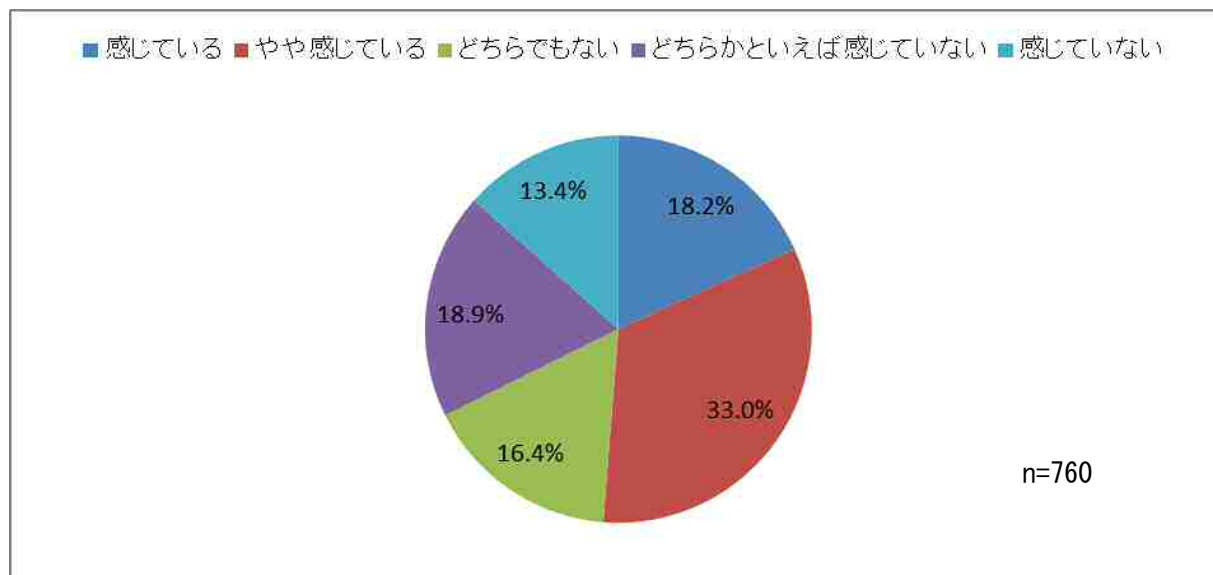


[分類] D 将来に不安がない

[項目] ア 心身の健康

あなたは、こころやからだが健康だと感じていますか？

満足度平均値 3.24

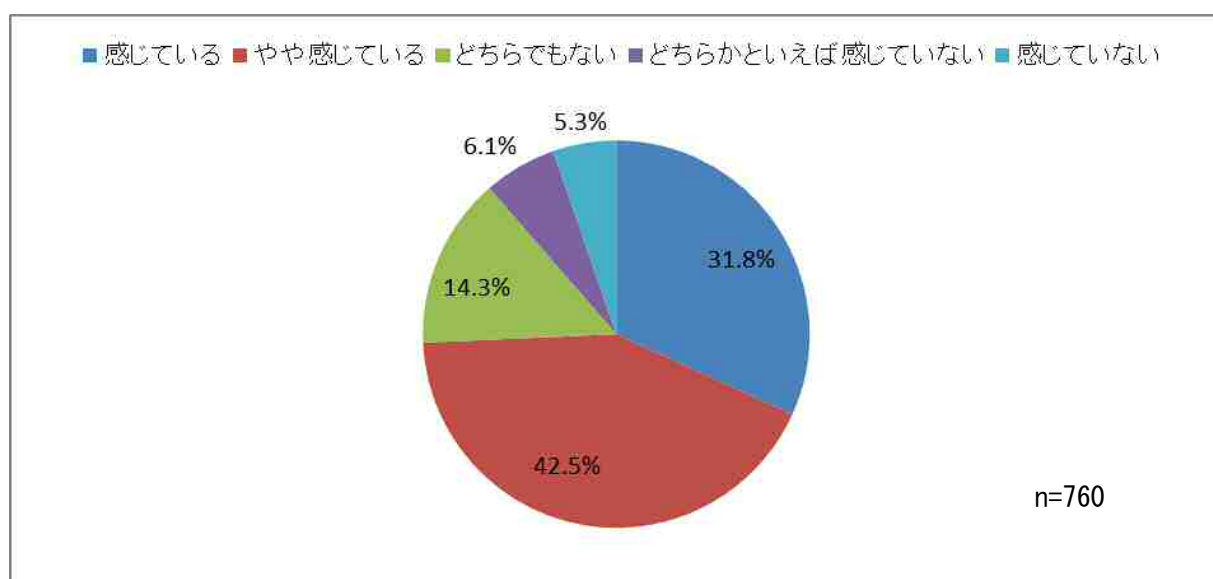


[項目] イ 食と生活環境の安全

あなたは、食べ物や地域の生活環境が安全※だと感じていますか？

※地域の生活環境が安全……水や空気がきれい、土壌が汚染されていない、騒音が少ないなど

満足度平均値 3.9

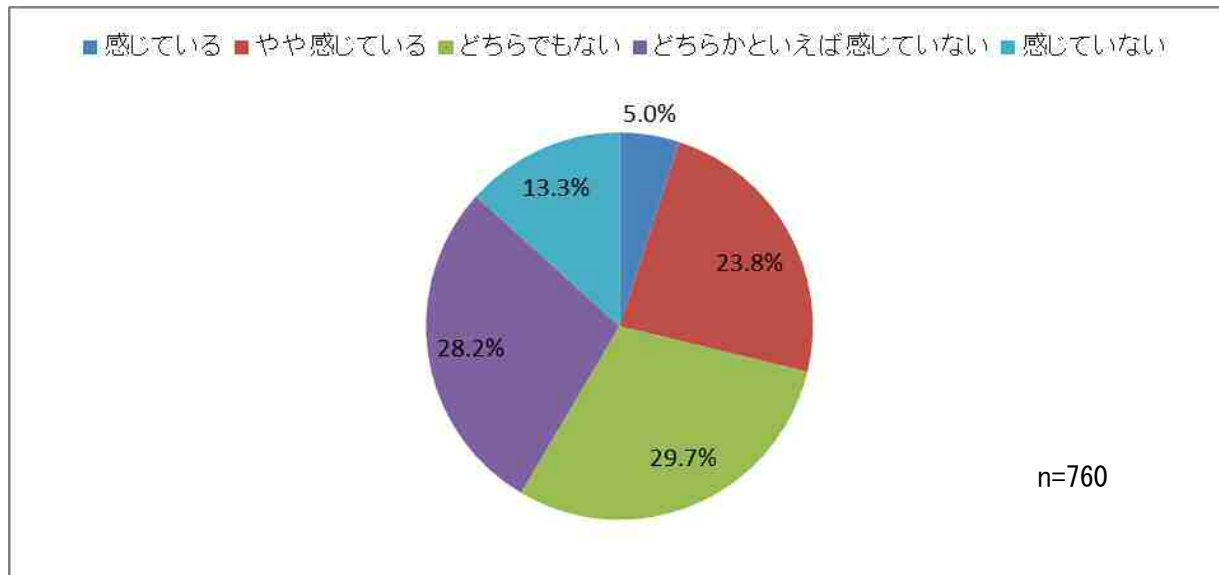


[項目] ウ 防災・治安

あなたは、災害や防犯に対する備え※ができていますか？

※災害や犯罪に対する備え……防災・防犯グッズの用意等の個人の取組み、見回り活動等の
地域の取組み、ソフト・ハード面の行政の対策など

満足度平均値 2.79



以上の結果を“4つの分類”ごとに整理すると次のとおりとなる。

① 「A 夢を持っている」

「夢を持っている」に対する満足度では、「家族関係」が3.86で最も高く、次に「仕事関係」3.17、「教育環境」2.74であった。（県調査では、「家族関係」3.90に続き、「仕事関係」3.20、「教育環境」3.10の順）

② 「B 誇りがある」

「誇りがある」に対する満足度では、「自然資源」が4.15で最も高く、“4つの分類”の各項目の中でも最も高かった。次に「地域社会とのつながり」3.81、「歴史・文化」3.57となった。（県調査では、「自然資源」4.30に続き、「歴史・文化」3.80、「地域社会とのつながり」3.70の順）

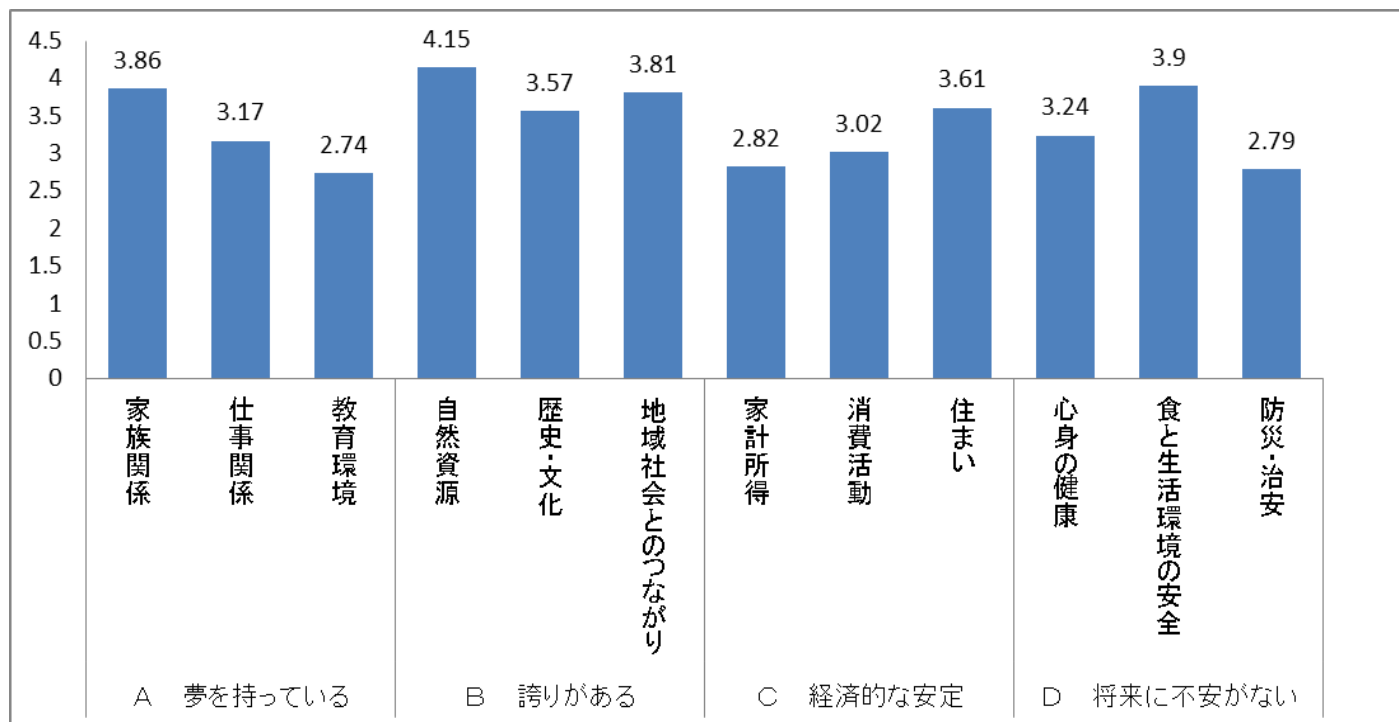
③ 「C 経済的な安定」

「経済的な安定」に対する満足度では、「住まい」が3.61で最も高く、次に「消費活動」3.02、「家計所得」2.82であった。（県調査では、「住まい」3.60に続き、「消費活動」3.10、「家計所得」2.90の順）

④ 「D 将来に不安がない」

「将来に不安がない」に対する満足度では、「食と生活環境の安全」が3.90で最も高く、次に「心身の健康」3.24、「防災・治安」2.79であった。（県調査では、「食と生活環境の安全」3.80に続き、「心身の健康」3.30、「防災・治安」2.70の順）

県調査では、「D 将来に不安がない」に対する項目「防災・治安（2.70）」が各項目の中で最も満足度が低い項目であったが、天草市の場合は「A 夢を持っている」の項目「教育環境」についての満足度が2.74で最も低かった。



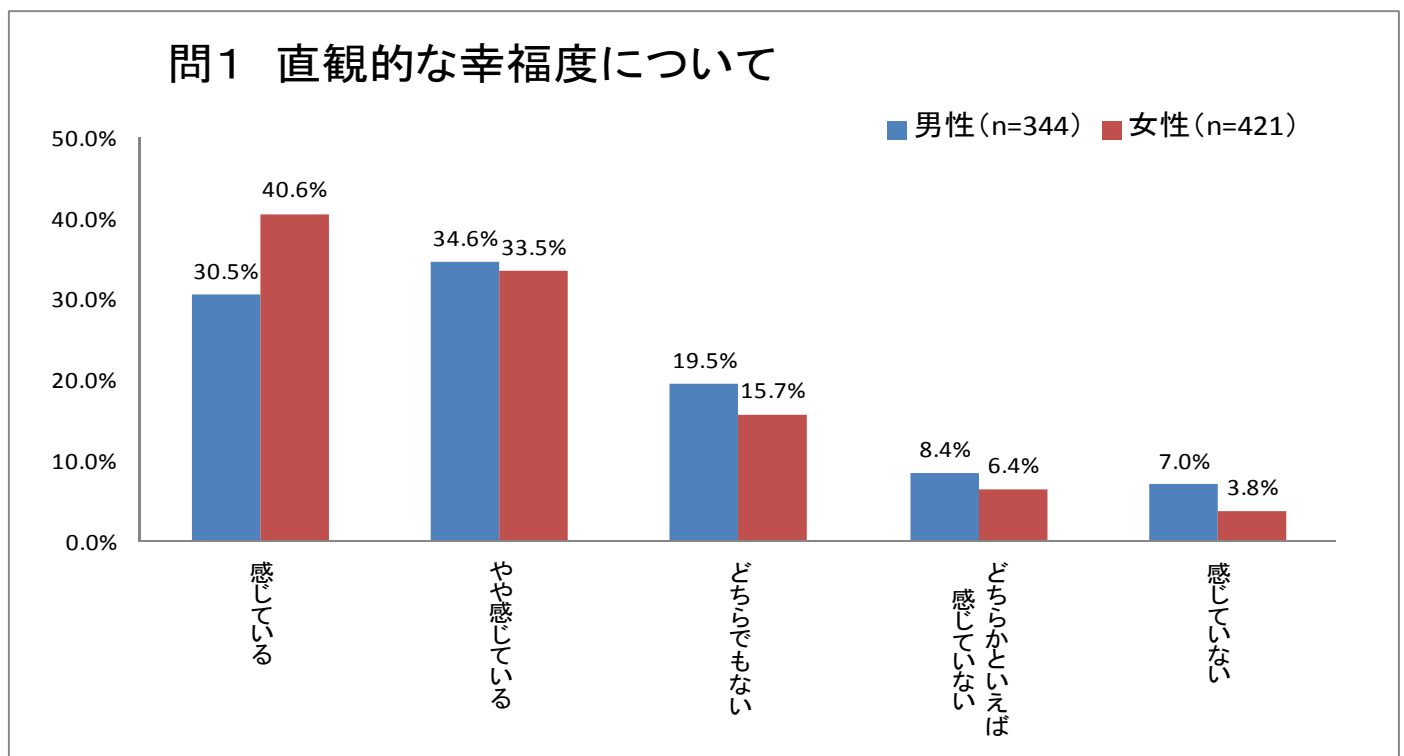
(2) クロス集計結果

男女別、年代別、地域別、職業別にクロス集計を行った。

なお、集計に際しては、設問ごとに回答されたすべてを対象とした。このため、回答数がそれぞれ異なっている。また、有効回答数が特に少なく、十分な分析に必要となるデータ数を確保できていない区分があるため、示された数値に一定の誤差が含まれる点に留意する必要がある。

男女別

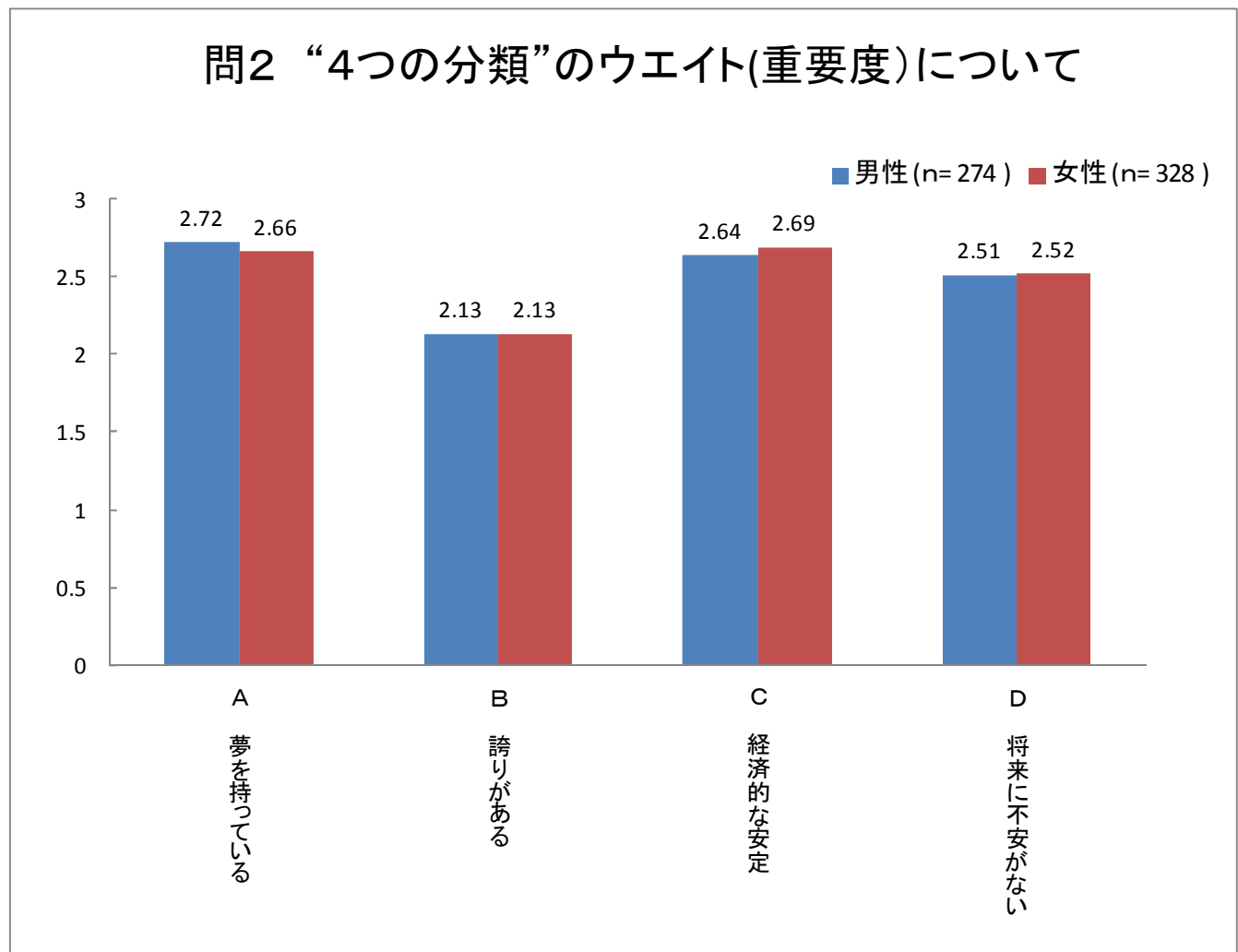
【問1】 直観的な幸福度について



「直観的な幸福度」について、「幸福」だと感じている割合（「感じている」と「やや感じている」の合計）は、男性65.1%、女性74.1%であった。男性よりも女性の幸福度が高く、県調査と同じ結果であった。

【問2】“4つの分類”のウエイト(重要度)について

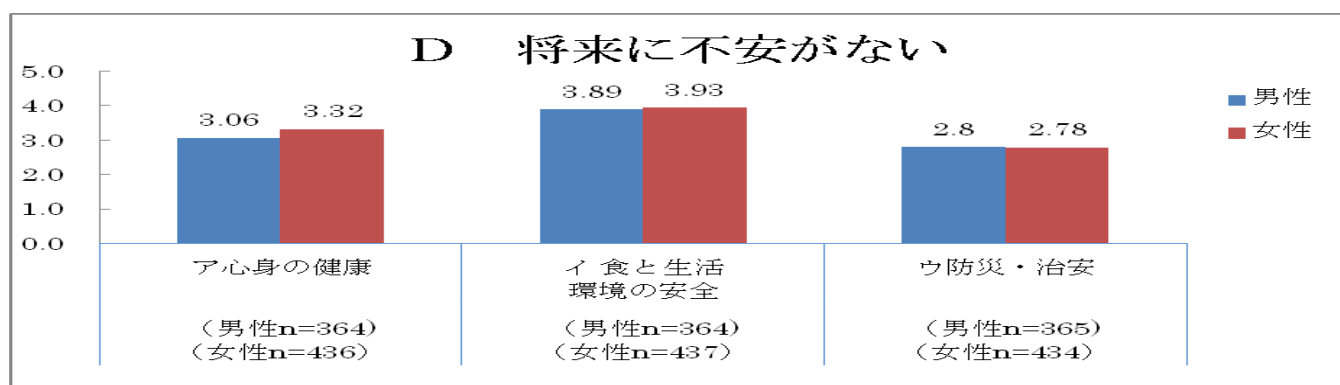
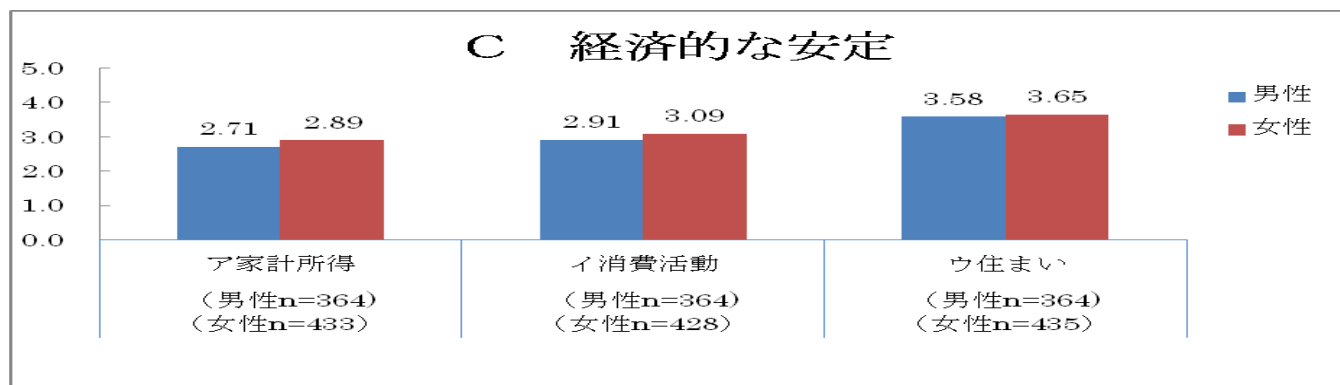
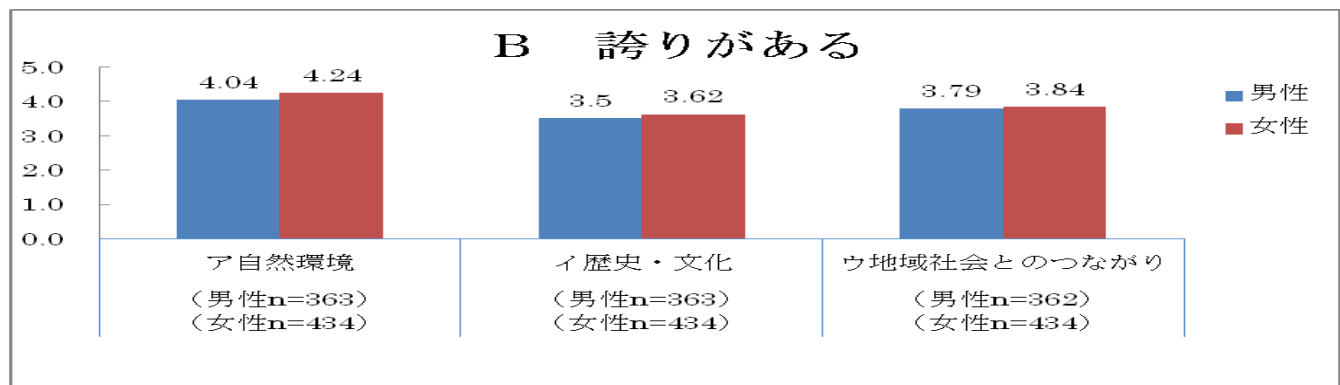
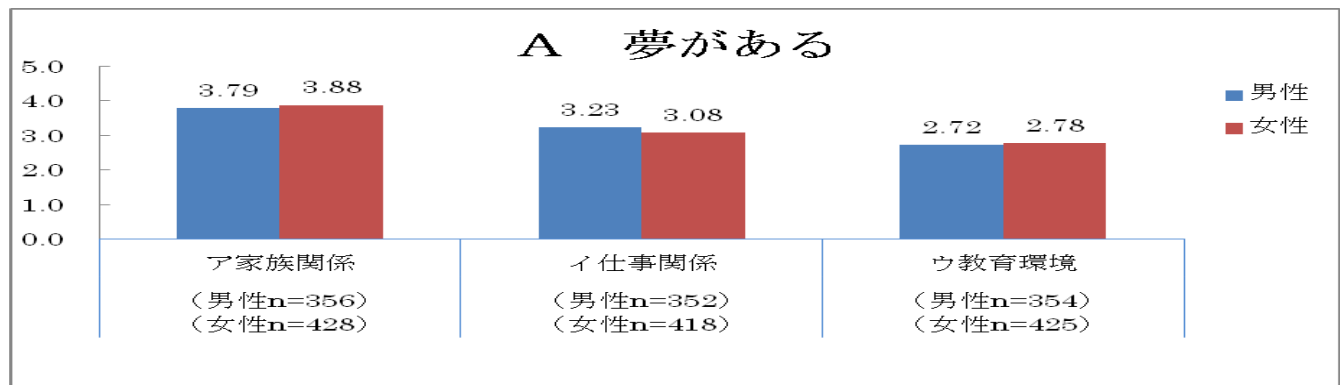
“4つの分類”のウエイト(重要度)の平均値は、次図のとおりである。



“4つの分類”のウエイトについて、女性は「C 経済的な安定」の平均値が2.69、男性が「A 夢を持っている」の平均値が2.72でそれぞれ最も高かったが、男女間に有意差は認められなかった。

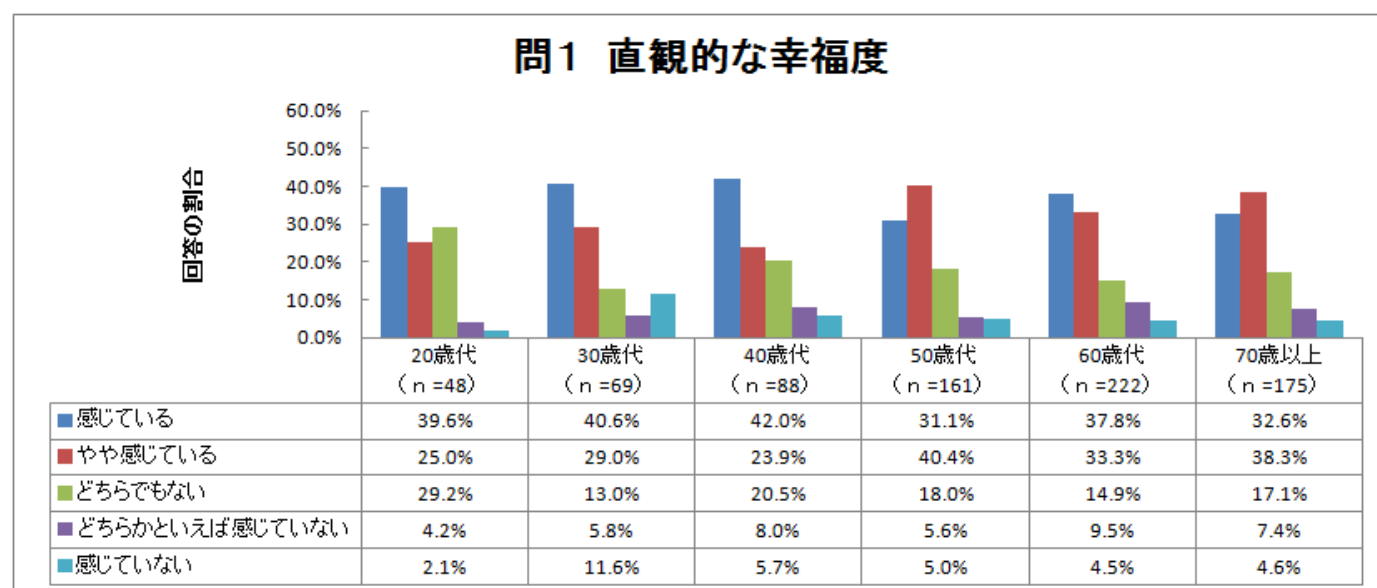
【問3】 幸福要因の“12の項目”の対する満足度(実感や考え)について

幸福要因の“12の項目”について、それぞれの満足度の平均値は次図のとおり。
 “12の項目”それぞれについて、男女の満足度の差は、0.26ポイント以下であり、
 総じて差異は認められなかった。

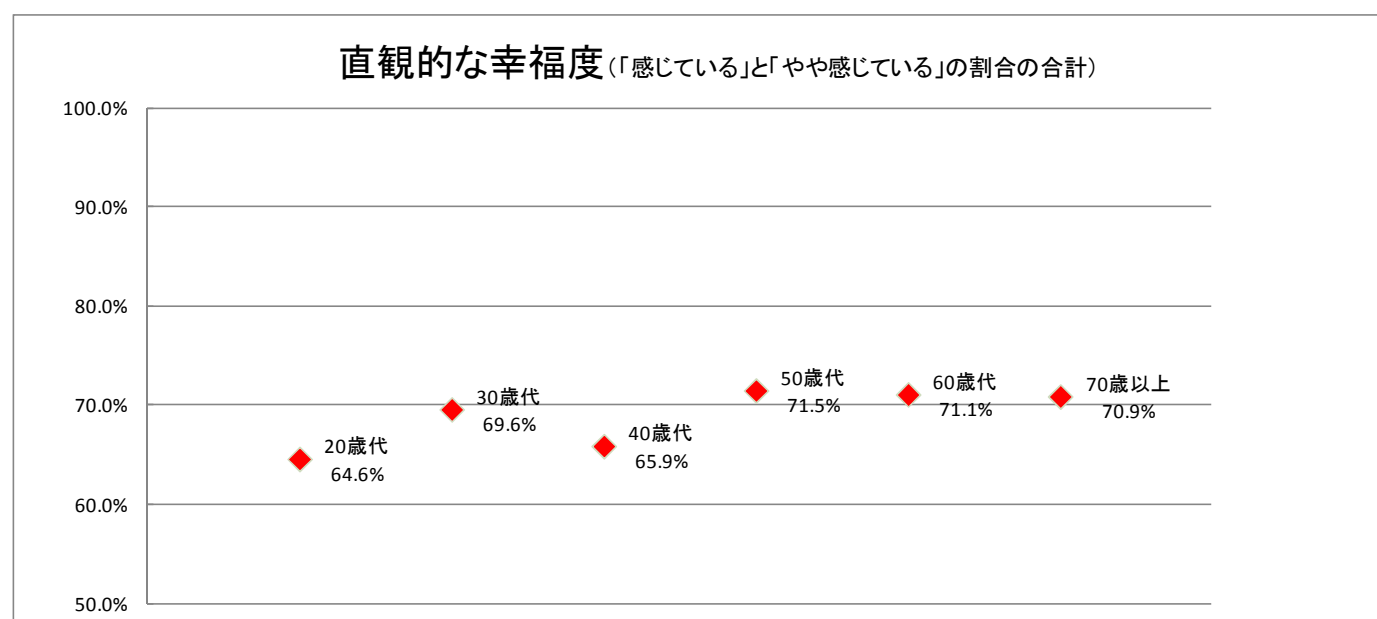


年代別

【問1】直観的な幸福度について

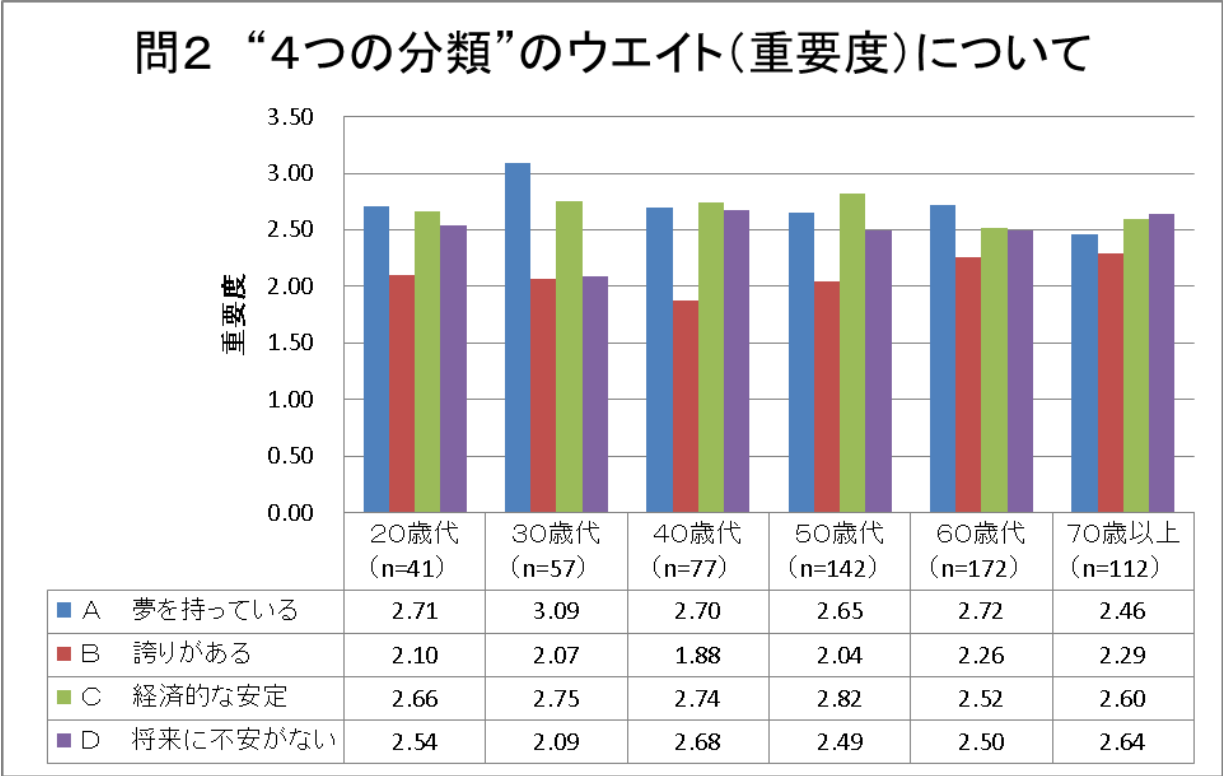


「直観的な幸福度」についても年代別の差異は認められなかった。「幸福」だと感じている割合(「感じている」と「やや感じている」の合計)をみても、各年代とも概ね7割前後の人が「幸福」を感じている。



【問2】“4つの分類”のウェイト(重要度)について

“4つの分類”のウェイトの平均値は、次図のとおりである。

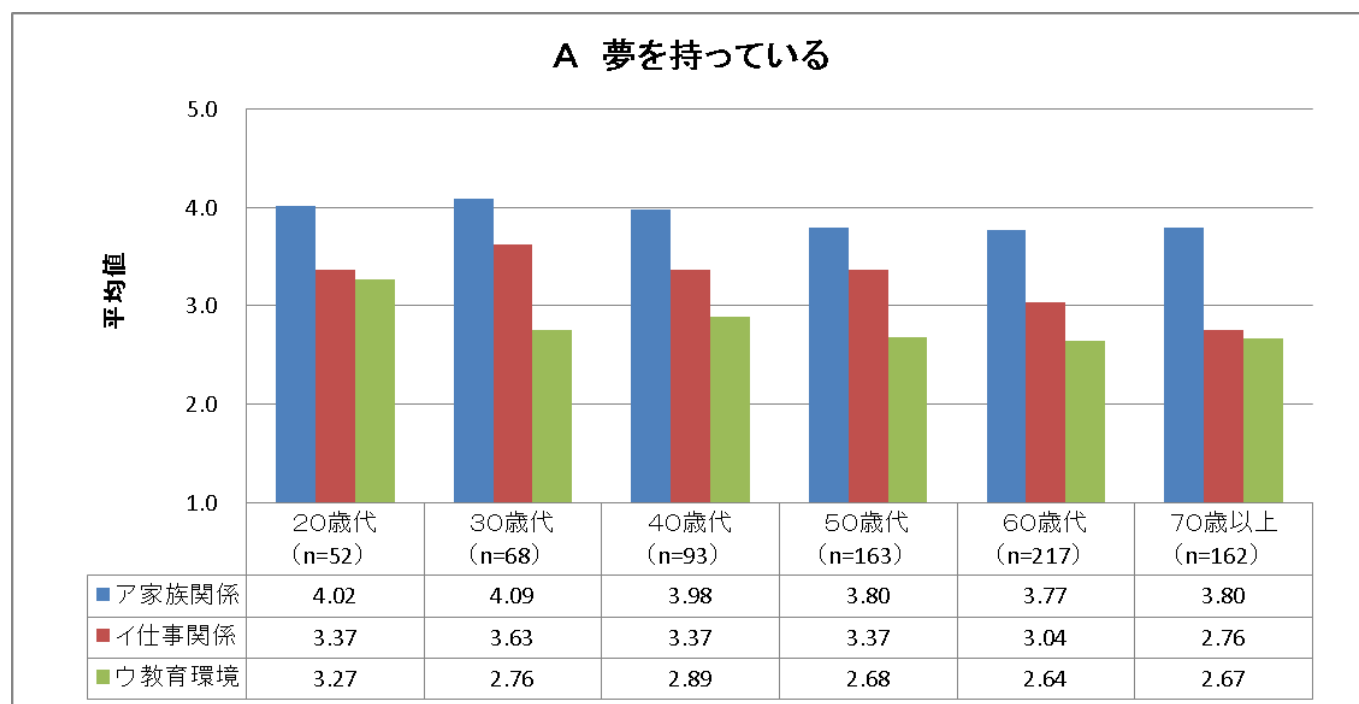


20歳代から30歳代と60歳代は、「A 夢を持っている」のウェイトが最も高く、次いで「C 経済的な安定」が続くが、40歳代から50歳代にかけては、「C 経済的な安定」が「A 夢を持っている」よりも上位となる。また、30歳代は、「A 夢を持っている」が際立って高く、逆に「将来に不安がない」は低いのが目立つ。「経済的な安定」はどの世代も変わらぬ希求する幸福の内容であるが、30歳代から40歳代にかけては、夢を追いかける幸福から経済的な安定を求める幸福へと移りさらに、70歳以上になると、経済的な安定よりも健康や防災などの安心の幸福へと、幸福要因が年代とともに変化しているようすがうかがえる。

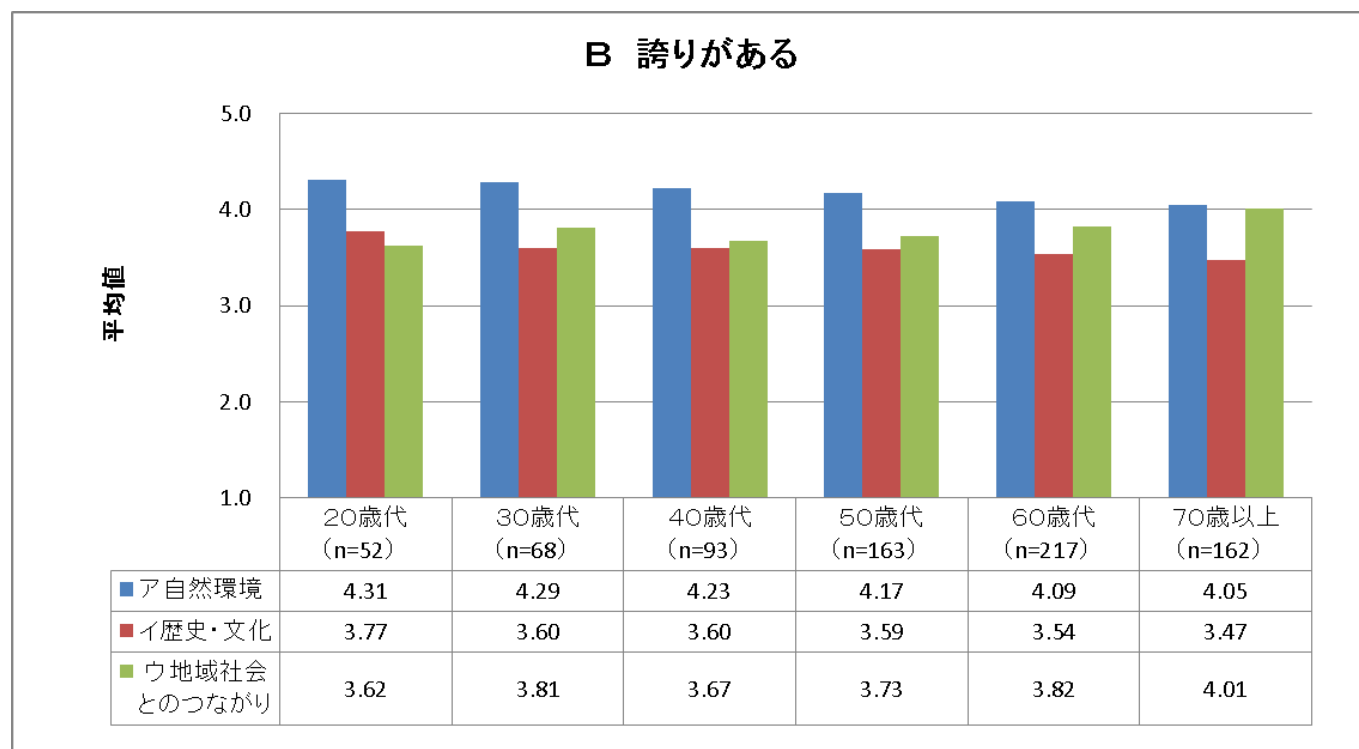
類型Ⅰ	20歳代 (n=41)	30歳代 (n=57)	60歳代 (n=172)	類型Ⅱ	40歳代 (n=77)	50歳代 (n=142)	類型Ⅲ	70歳以上 (n=112)
A 夢を持っている	2.71	3.09	2.72	C 経済的な安定	2.74	2.82	D 将来に不安がない	2.64
C 経済的な安定	2.66	2.75	2.52	A 夢を持っている	2.70	2.65	C 経済的な安定	2.60
D 将来に不安がない	2.54	2.09	2.50	D 将来に不安がない	2.68	2.49	A 夢を持っている	2.46
B 誇りがある	2.10	2.07	2.26	B 誇りがある	1.88	2.04	B 誇りがある	2.29

問3 “12の項目”に対する満足度(実感や考え)について

4つの分類ごとに、各年代の満足度の平均値を年代別に比較した。

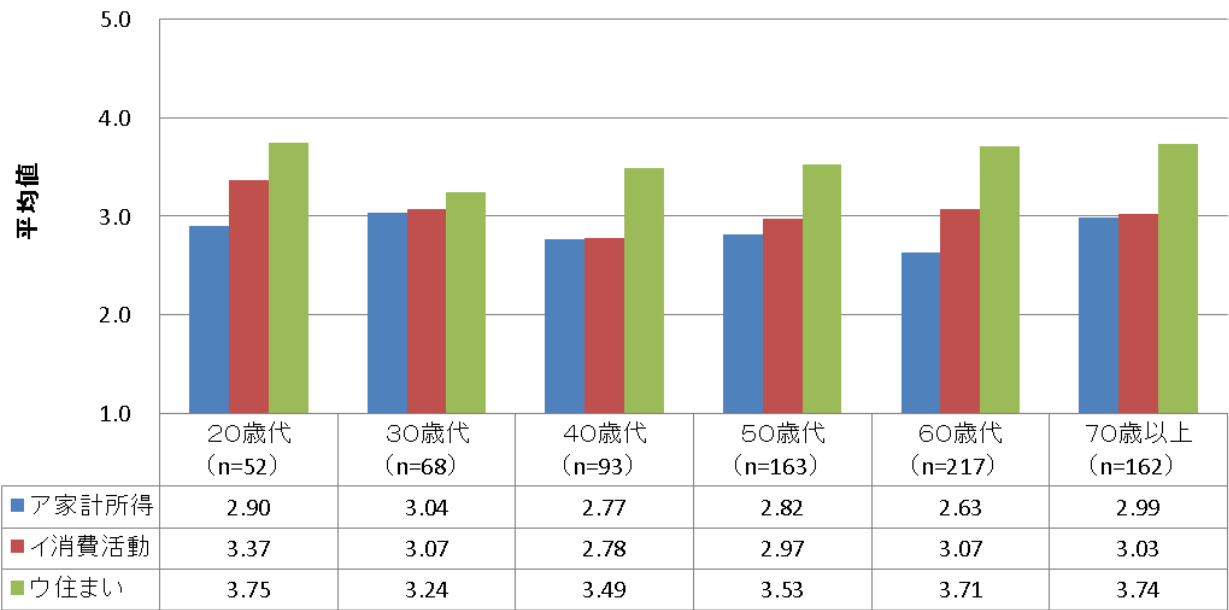


どの年代も「ア 家族関係」の平均値が最も高く、「ウ 教育環境」が低い。「イ 仕事関係」は30歳をピークに徐々に低下の傾向がうかがえ、定年を迎えた人が多い60歳代、70歳以上の平均値は、他の年代に比べて0.6～0.9ポイント低い。また、「ウ 教育環境」は20歳代の平均値が3.27で最も高く、年代が上がるにつれて低下の傾向がうかがえる。



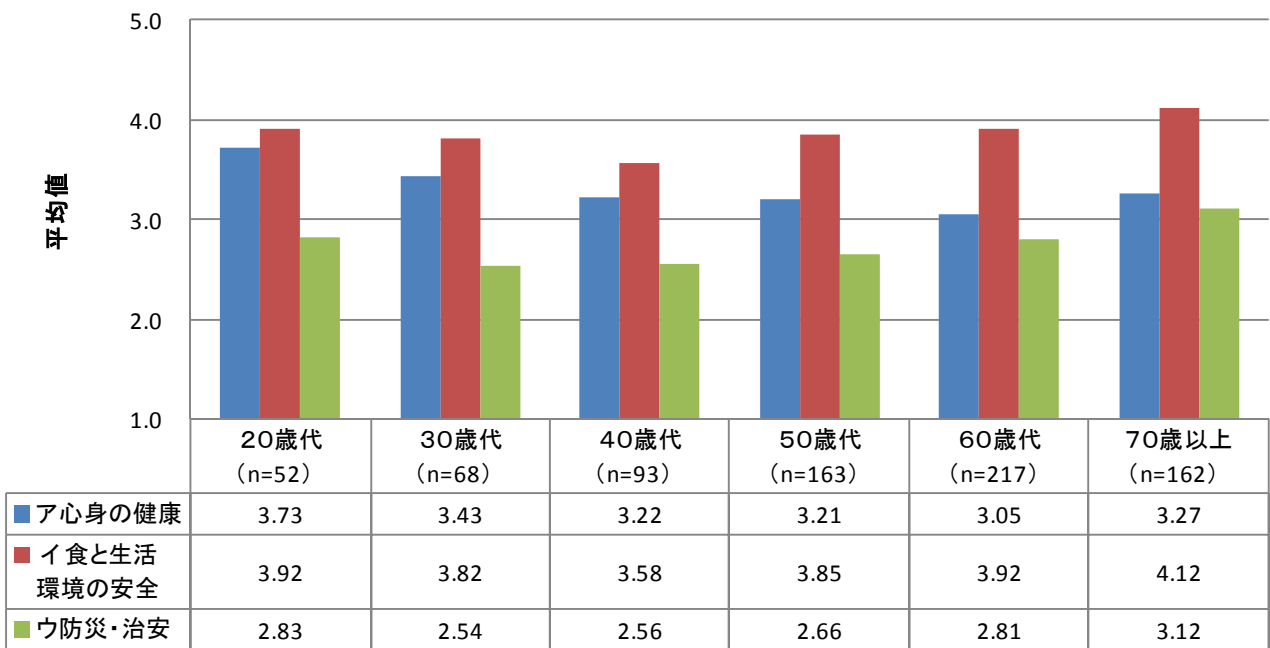
どの年代も「ア 自然環境」が最も高く、年代による差異はほとんど見られない。ただ、20歳代は「ウ 地域社会とのつながり」が他の年代に比べて低く、逆に70歳以上は高い。

C 経済的な安定



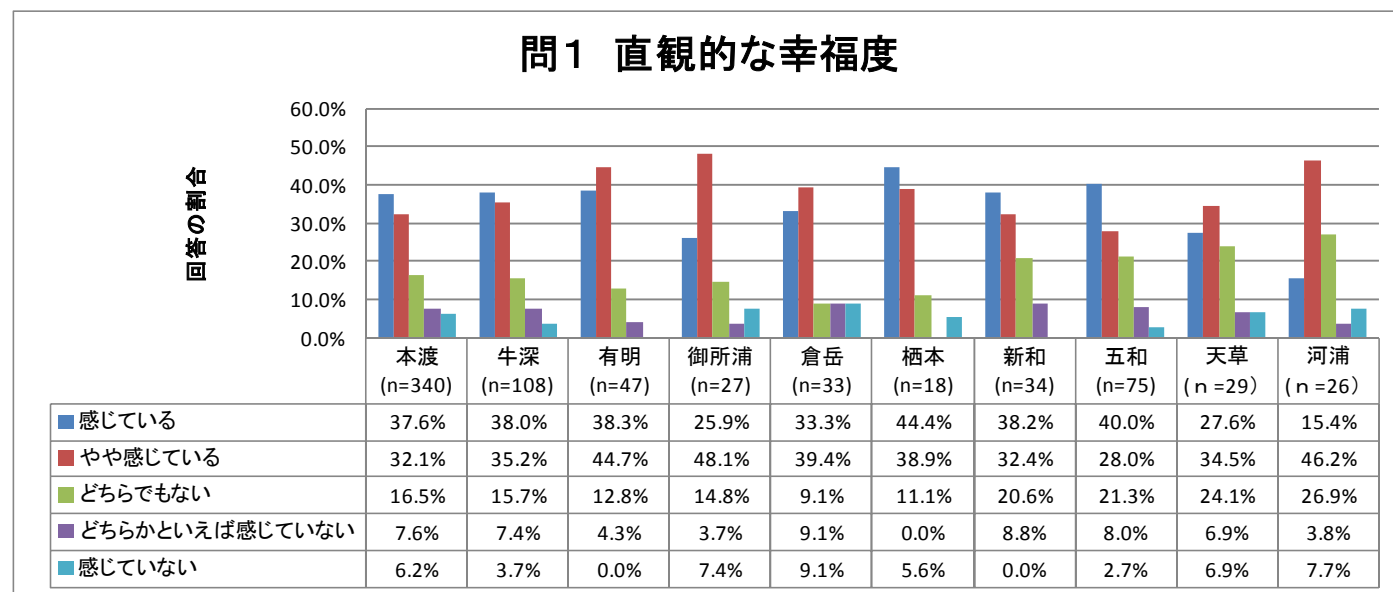
どの年代も「ウ 住まい」の平均値が最も高い。各項目で最も低い平均値を見ると、「ア 家計所得」は定年を迎える年代の60歳代で、また「イ 消費活動」は子供の教育費などにお金がかかる40歳代で、「ウ 住まい」の平均値はマイホームの取得を考え始める30歳代で低く、ライフプランと関連した満足度の状況が推測された。

D 将来に不安がない

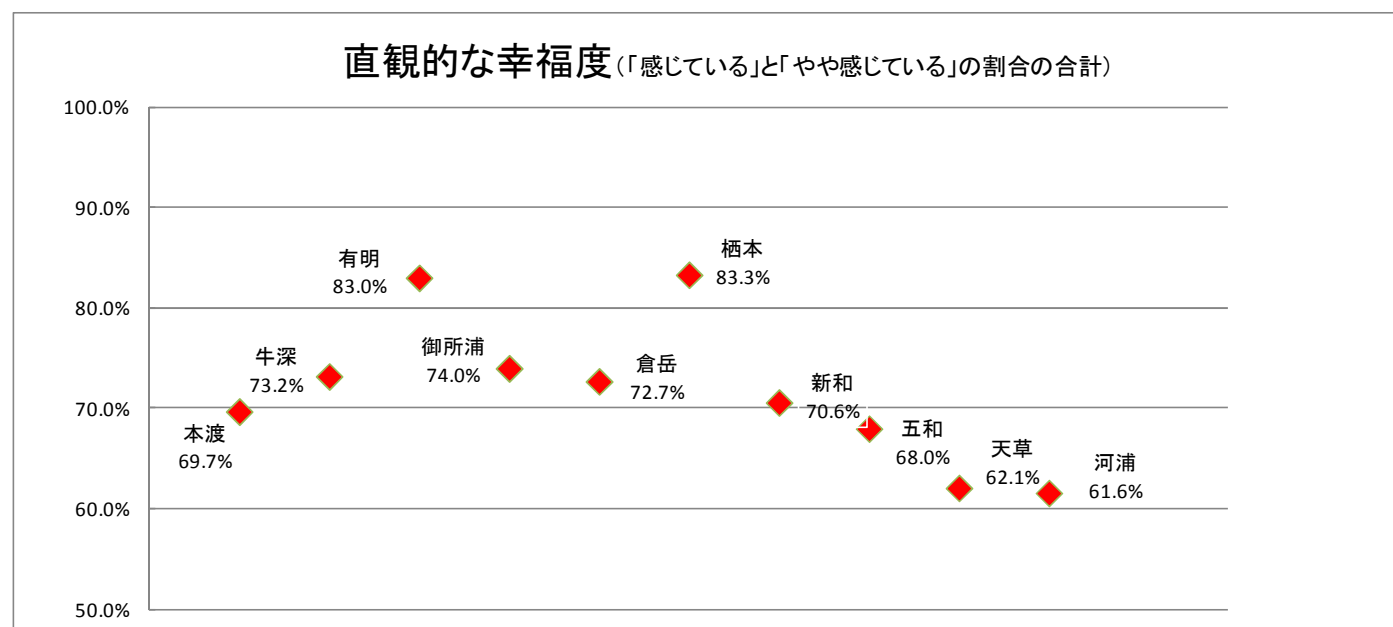


この分類ではすべての項目で、年代による差異が認められた。「ア 心身の健康」は20歳代をピークに年齢が上がるにつれて下がるが、「イ 食と生活環境の安全」は40歳代から、また「ウ 防災・治安」は30歳代から、年齢が上がるほど満足度が上昇する傾向がうかがえる。

【問1】 直観的な幸福度について

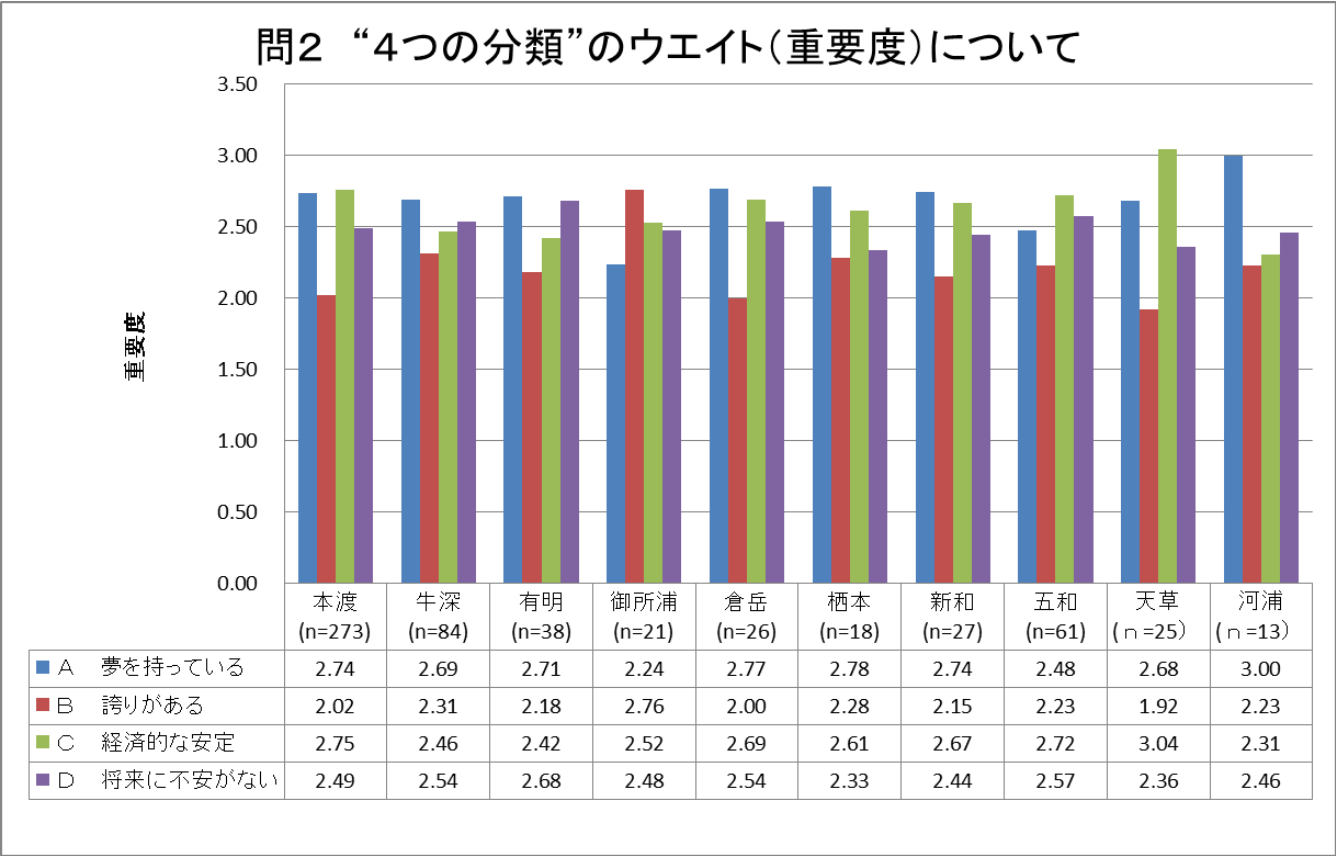


「直観的な幸福度」について、「幸福」だと感じている割合（「感じている」と「やや感じている」の合計）は、を地域別にみると、トップの栖本（83.3%）から河浦（61.6%）まで、全地域で概ね6割～8割の幸福度がうかがえたが、栖本と河浦では21.7ポイントの開きがあった。



【問2】 “4つの分類”のウエイト(重要度)について

“4つの分類”のウエイトの平均値は、次図のとおりである。

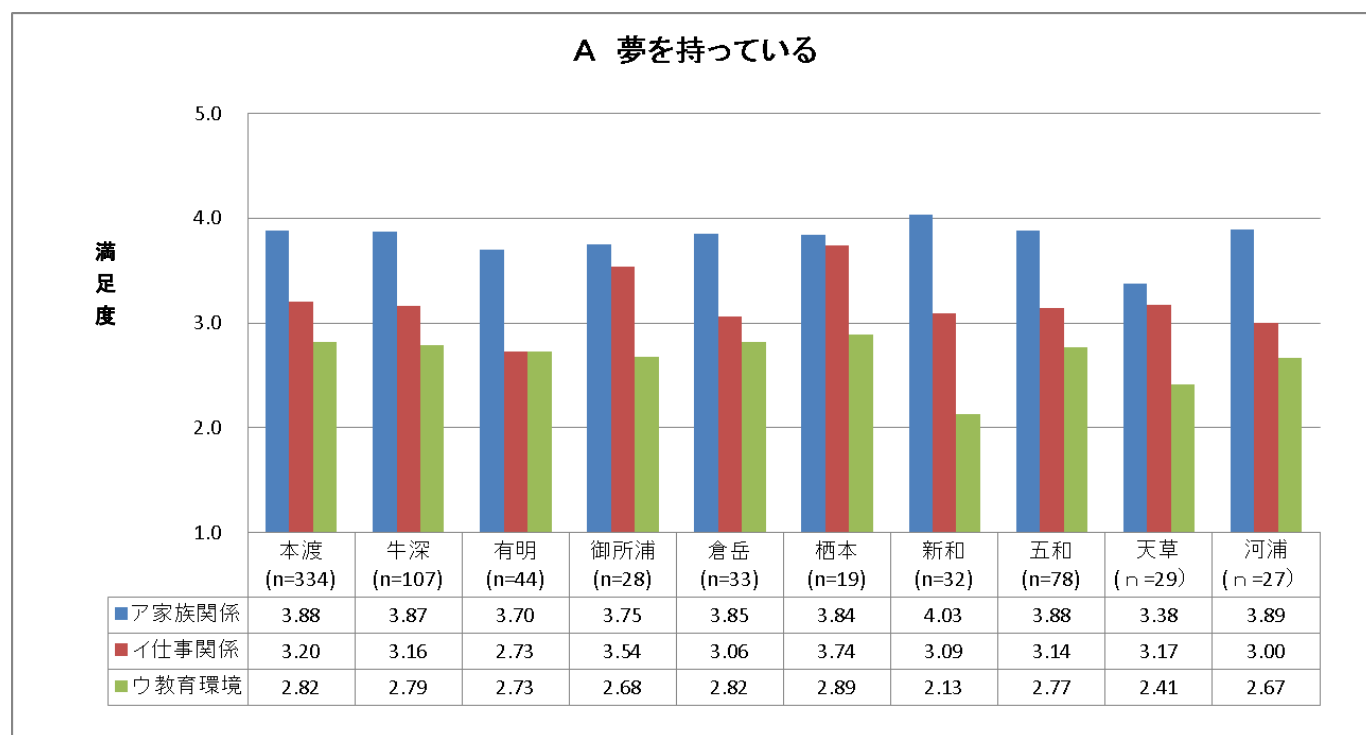


上記をもとに、ウエイトの順番で地域进行分类すると、以下のような類型が得られた。
類型Ⅰと類型Ⅱは1位と2位の順番が入れ替わり、類型Ⅲは類型2位と3位の順番が入れ替わっている。この3つの類型と異なる傾向がうかがえるのは、五和地域と御所浦地域である。
五和地域ではより経済的なことが幸福要因としてウエイトが高く、御所浦地域では他のどの地域とも異なり、地域の誇りが幸福要因に1位となっていると考えられる。

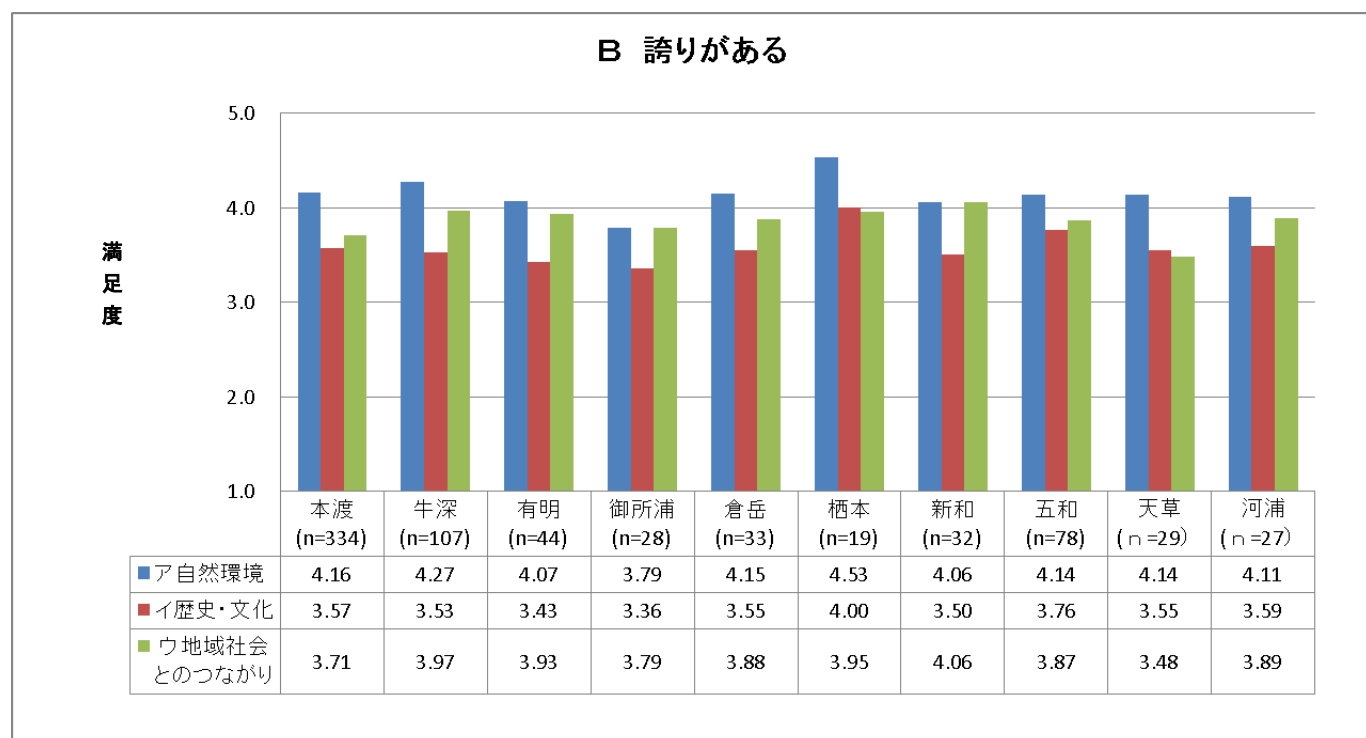
（類型Ⅰ）			（類型Ⅱ）			（類型Ⅲ）			（類型Ⅳその他）				
	天草 (n=25)	本渡 (n=273)		倉岳 (n=26)	栖本 (n=18)	新和 (n=27)		河浦 (n=13)	河浦 (n=13)	有明 (n=38)	牛深 (n=84)	五和 (n=61)	御所浦 (n=21)
C 経済的な安定	3.04	2.75	A 夢を持っている	2.77	2.78	2.74	A 夢を持っている	3.00	3.00	2.71	2.69	2.72	2.76
A 夢を持っている	2.68	2.74	C 経済的な安定	2.69	2.61	2.67	D 将来に不安がない	2.46	2.46	2.68	2.54	2.57	2.52
D 将来に不安がない	2.36	2.49	D 将来に不安がない	2.54	2.33	2.44	C 経済的な安定	2.31	2.31	2.42	2.46	2.48	2.48
B 誇りがある	1.92	2.02	B 誇りがある	2.00	2.28	2.15	B 誇りがある	2.23	2.23	2.18	2.31	2.23	2.24

問3 “12の項目”に対する満足度(実感や考え)について

4つの分類ごとに、各項目の満足度の平均値を地域別に比較した。

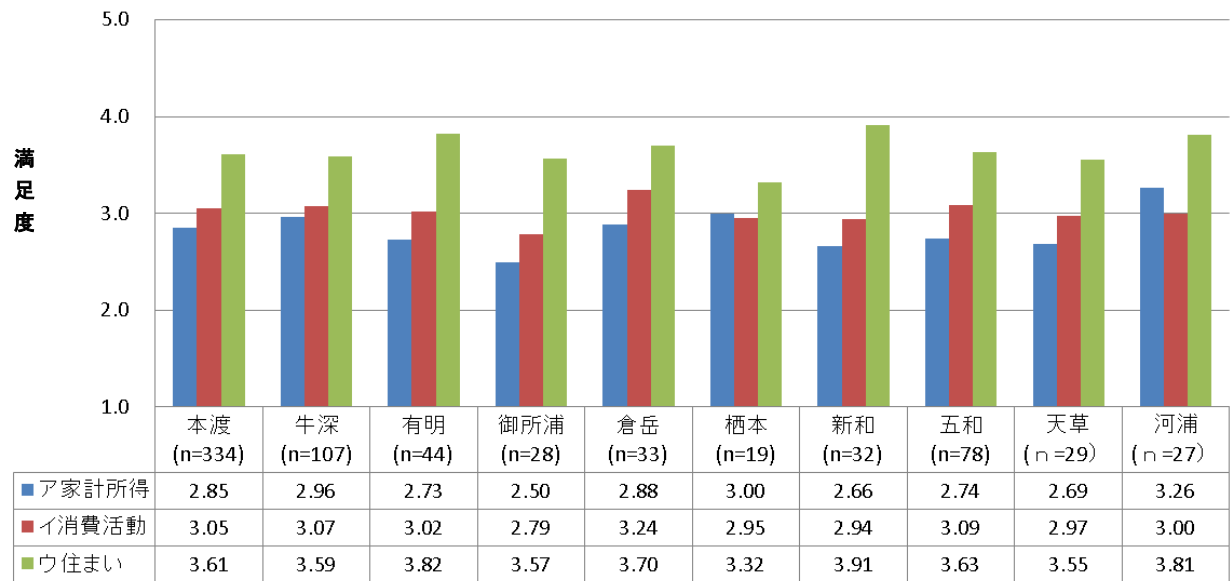


どの地域も「ア 家族関係」が最上位、次いで「イ 仕事関係」、「ウ 教育関係」となる地域が多く、地域別の差異はない。ただ、新和地域では「ウ 教育環境」の満足度が低いのが目立つ。



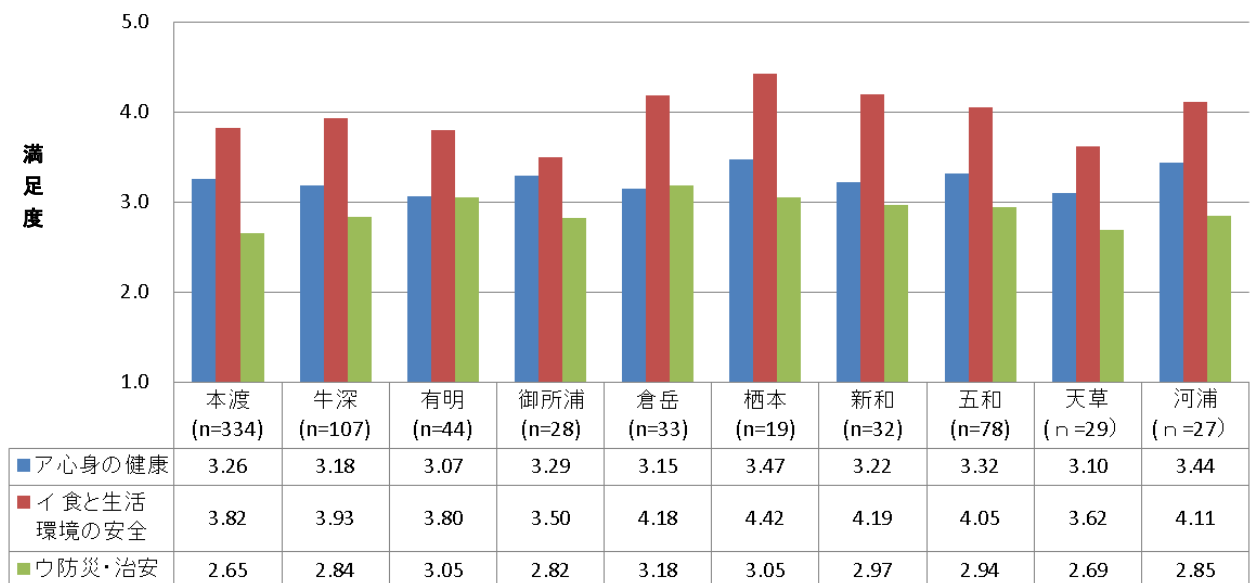
どの地域も概ね「ア 自然環境」が最上位。次いで「ウ 地域社会とのつながり」「イ 歴史・文化」の順で満足度が高く、地域による差異はない。ただ、栖本地域で「ア 自然環境」の満足度と「イ 歴史・文化」の満足度が他地域に比べてやや高いのが目立つ。

C 経済的な安定



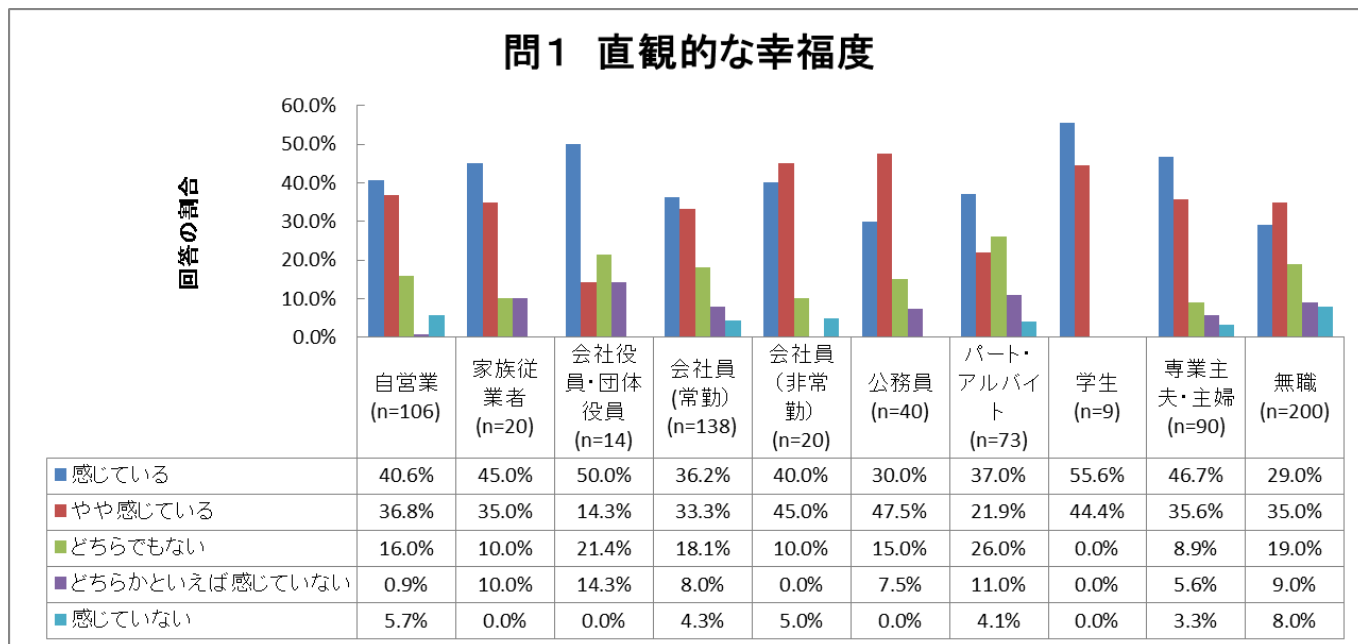
どの地域も「ウ 住まい」の満足度が最上位で、次いで「イ 消費活動」、「ア 家計所得」の順で、地域による差異はない。

D 将来に不安がない

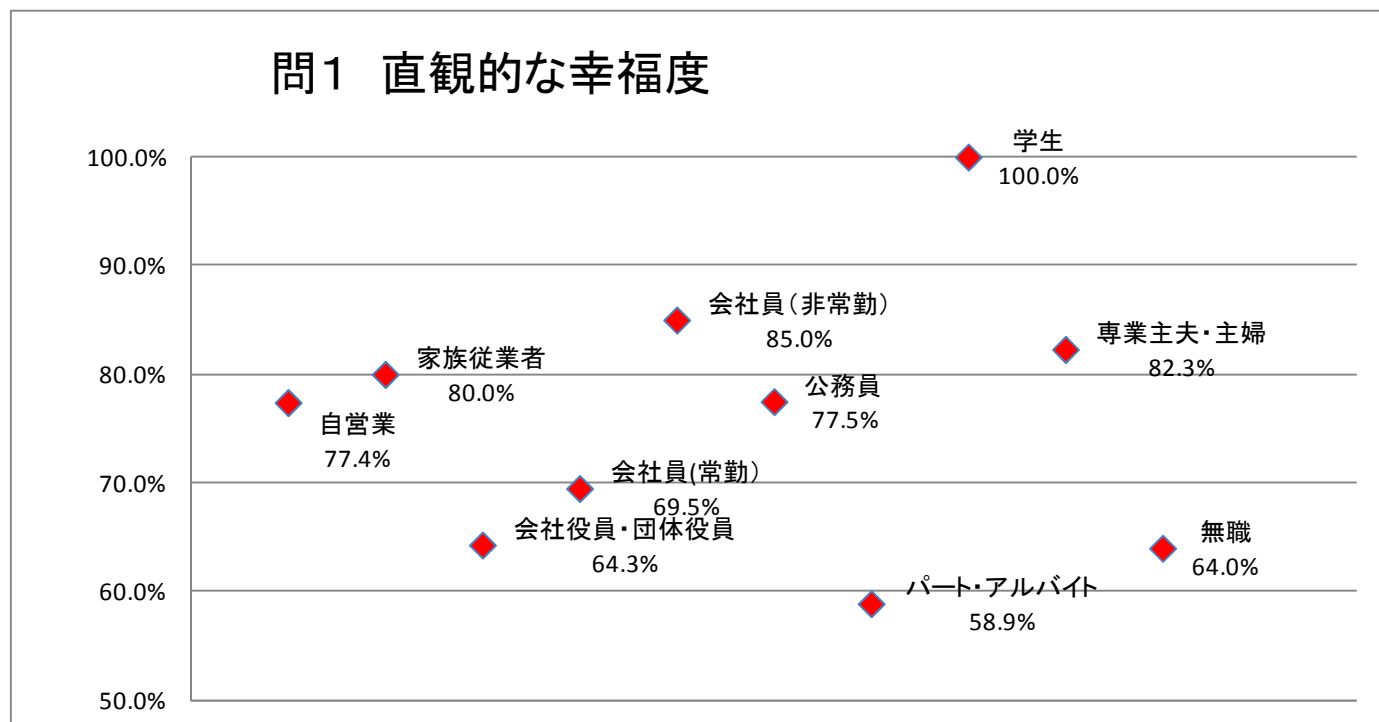


どの地域も「イ 食と生活環境の安全」の満足度が最上位で、次いで「ア 心身の健康」「ウ 防災・治安」の順で、地域による差異はない。

【問1】 直観的な幸福度について

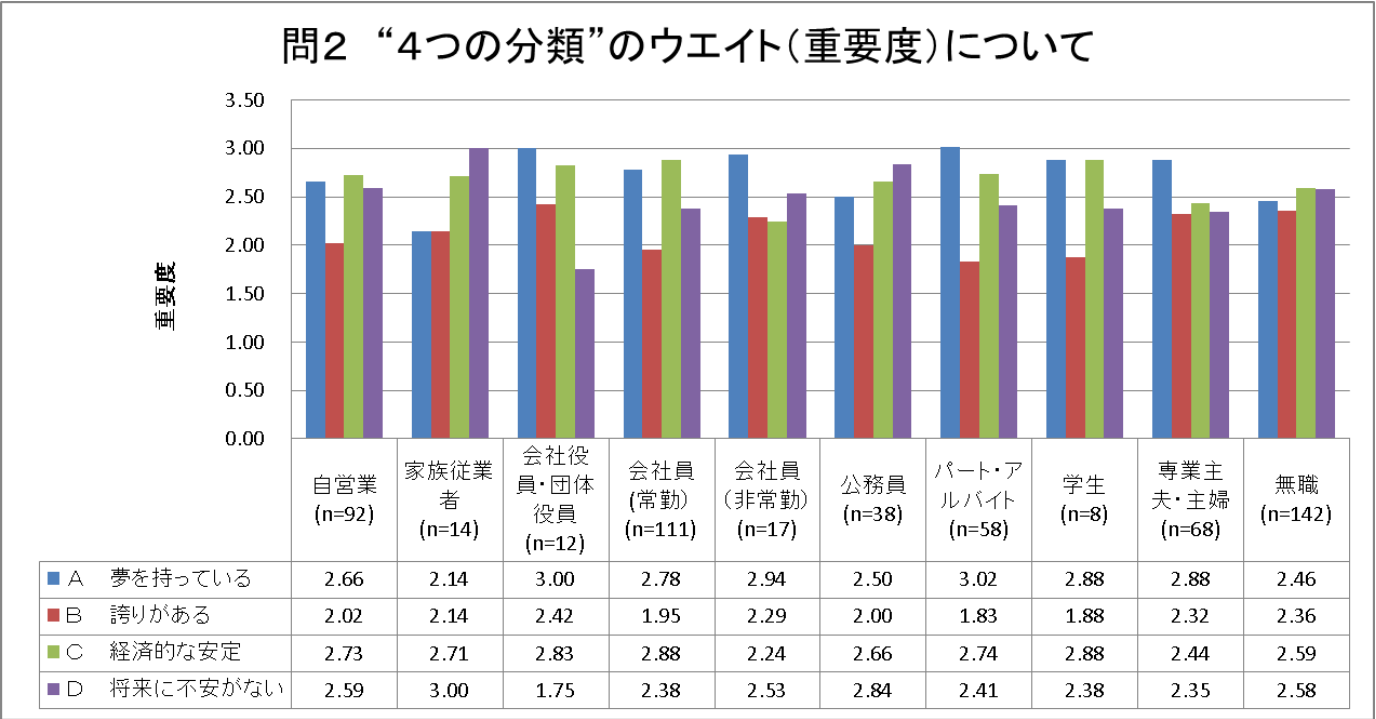


「幸福」だと感じている割合(「感じている」と「やや感じている」の合計)をみると、職業によって幸福度にばらつきがあることがうかがえる。標本数が少ない学生を除くと、幸福度を高く感じているのは会社員(非常勤)の85.0%、逆に最も低いのはパート・アルバイトの58.9%。その差は26.1ポイントもあった。



【問2】 “4つの分類”のウエイト(重要度)について

“4つの分類”のウエイトの平均値は、次図のとおりである。

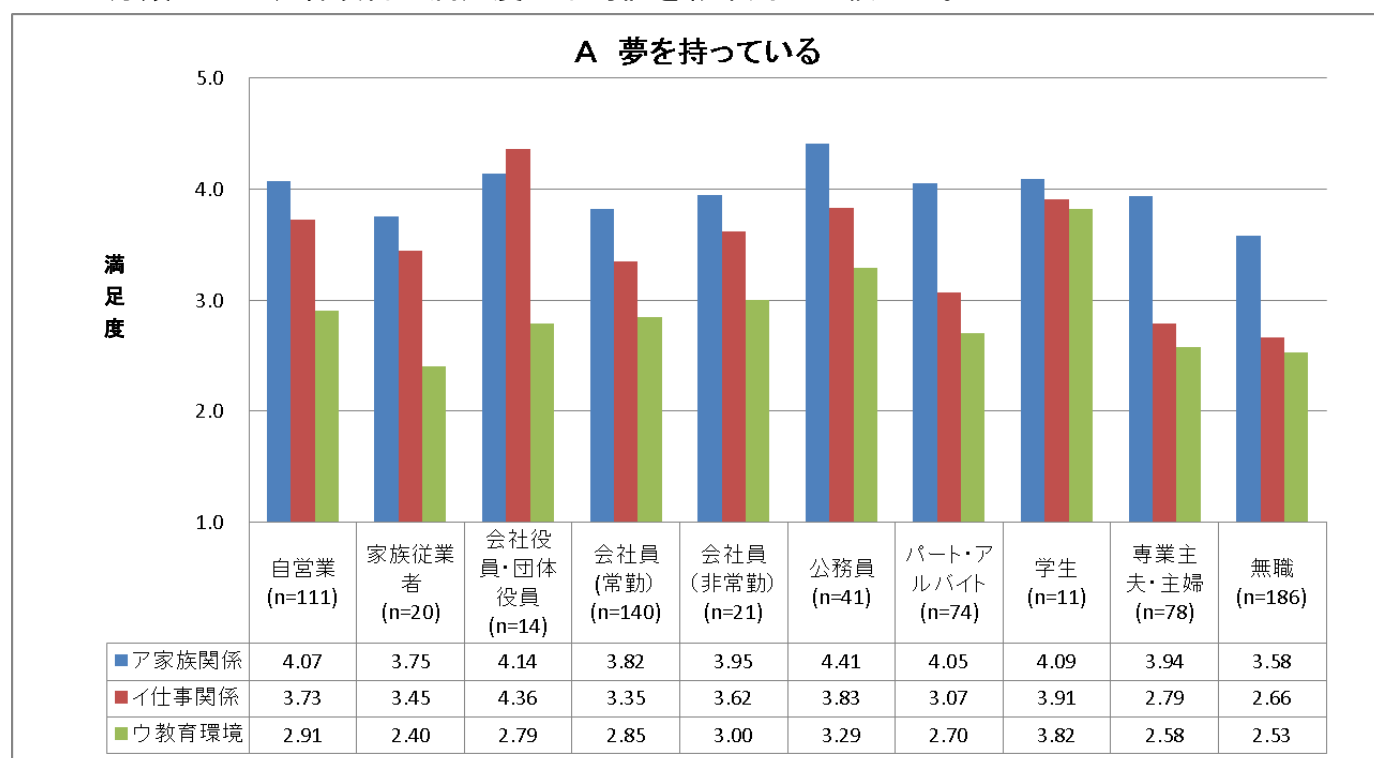


ウエイトの高さの順に分類すると、以下のような類型が得られた。

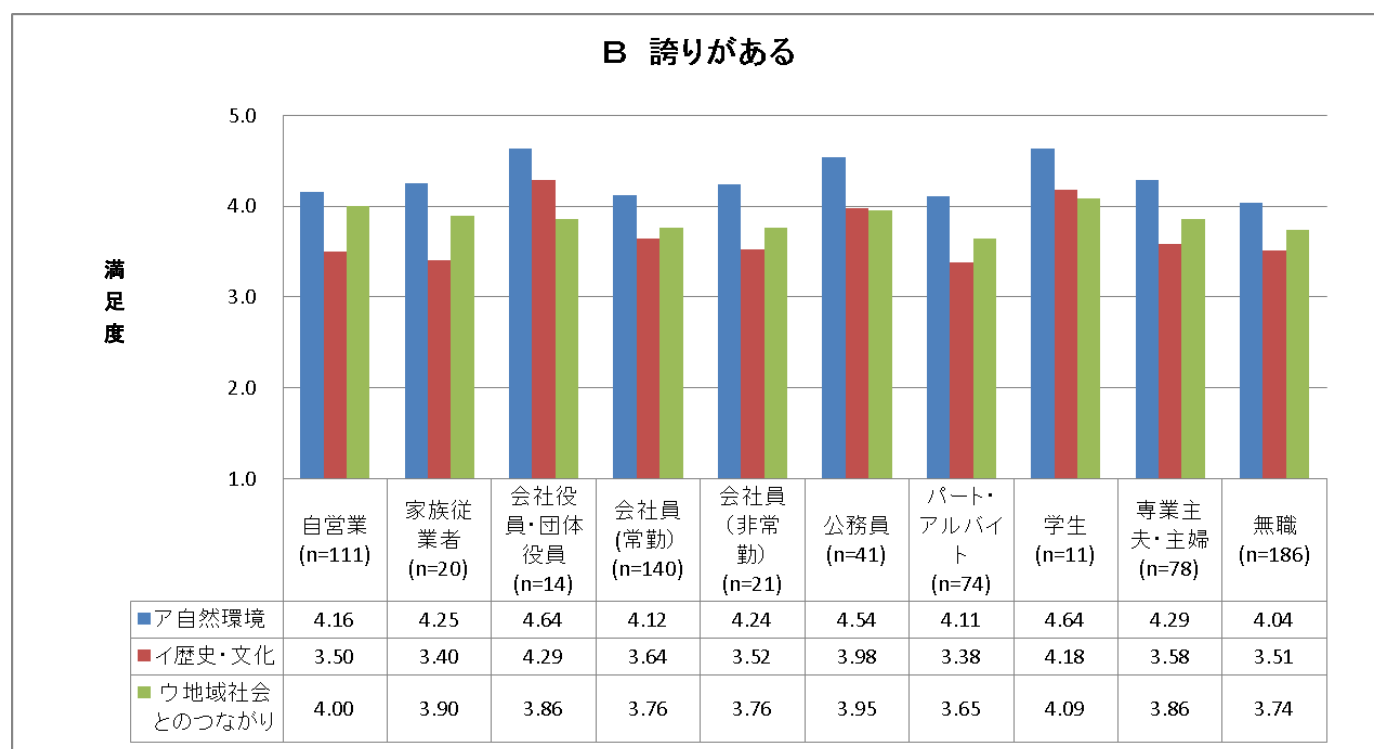
(類型Ⅰ)			(類型Ⅱ)				(類型Ⅲ)			(類型Ⅳその他)		
	自営業 (n=92)	会社員(常勤) (n=111)		パート・アルバイト (n=58)	学生 (n=8)	専業主夫・主婦 (n=68)		公務員 (n=38)	家族従業者 (n=14)	会社役員・団体役員 (n=12)	会社員(非常勤) (n=17)	無職 (n=142)
C 経済的な安定	2.73	2.88	A 夢を持っている	3.02	2.88	2.88	D 将来に不安がない	2.84	3.00	3.00	2.94	2.59
A 夢を持っている	2.66	2.78	C 経済的な安定	2.74	2.88	2.44	C 経済的な安定	2.66	2.71	2.83	2.53	2.58
D 将来に不安がない	2.59	2.38	D 将来に不安がない	2.41	2.38	2.35	A 夢を持っている	2.50	2.14	2.42	2.29	2.46
B 誇りがある	2.02	1.95	B 誇りがある	1.83	1.88	2.32	B 誇りがある	2.00	2.14	1.75	2.24	2.36

問3 “12の項目”に対する満足度(実感や考え)について

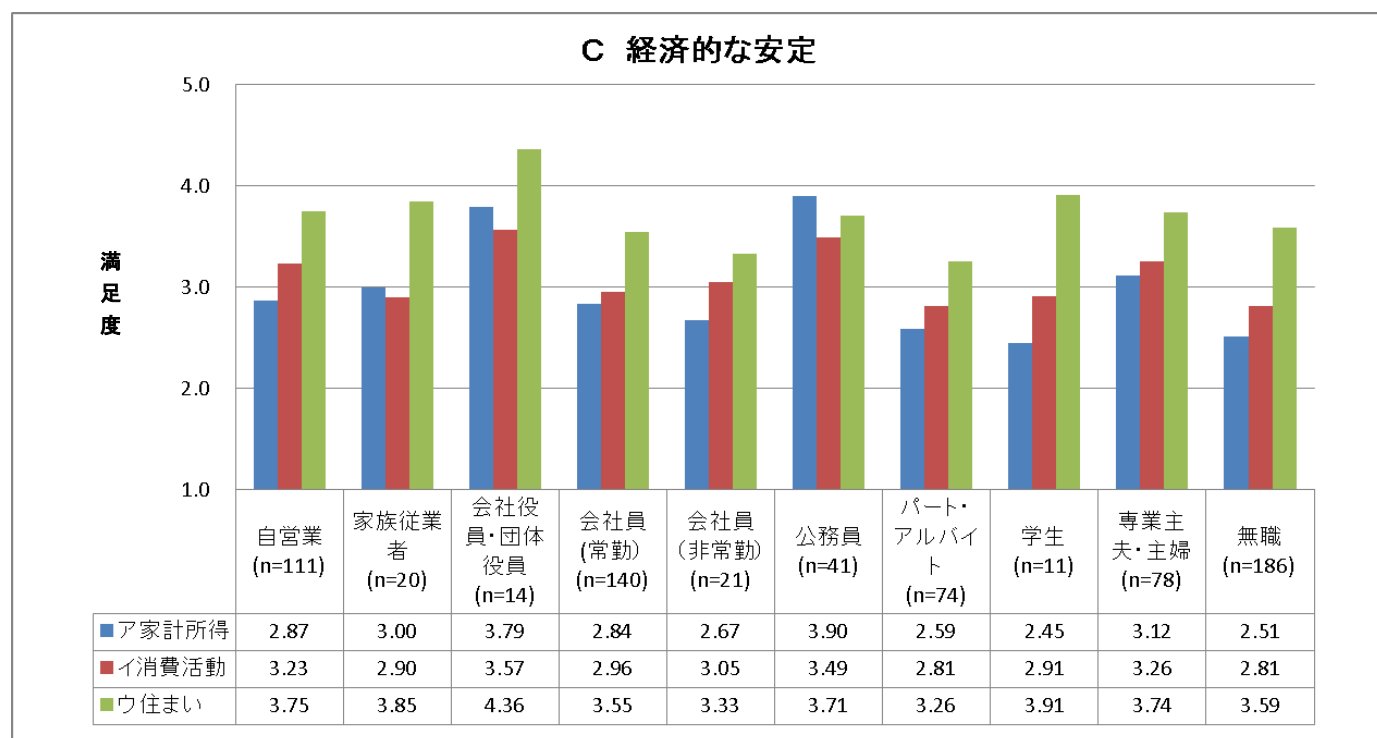
4つの分類ごとに、各項目の満足度の平均値を職業別に比較した。



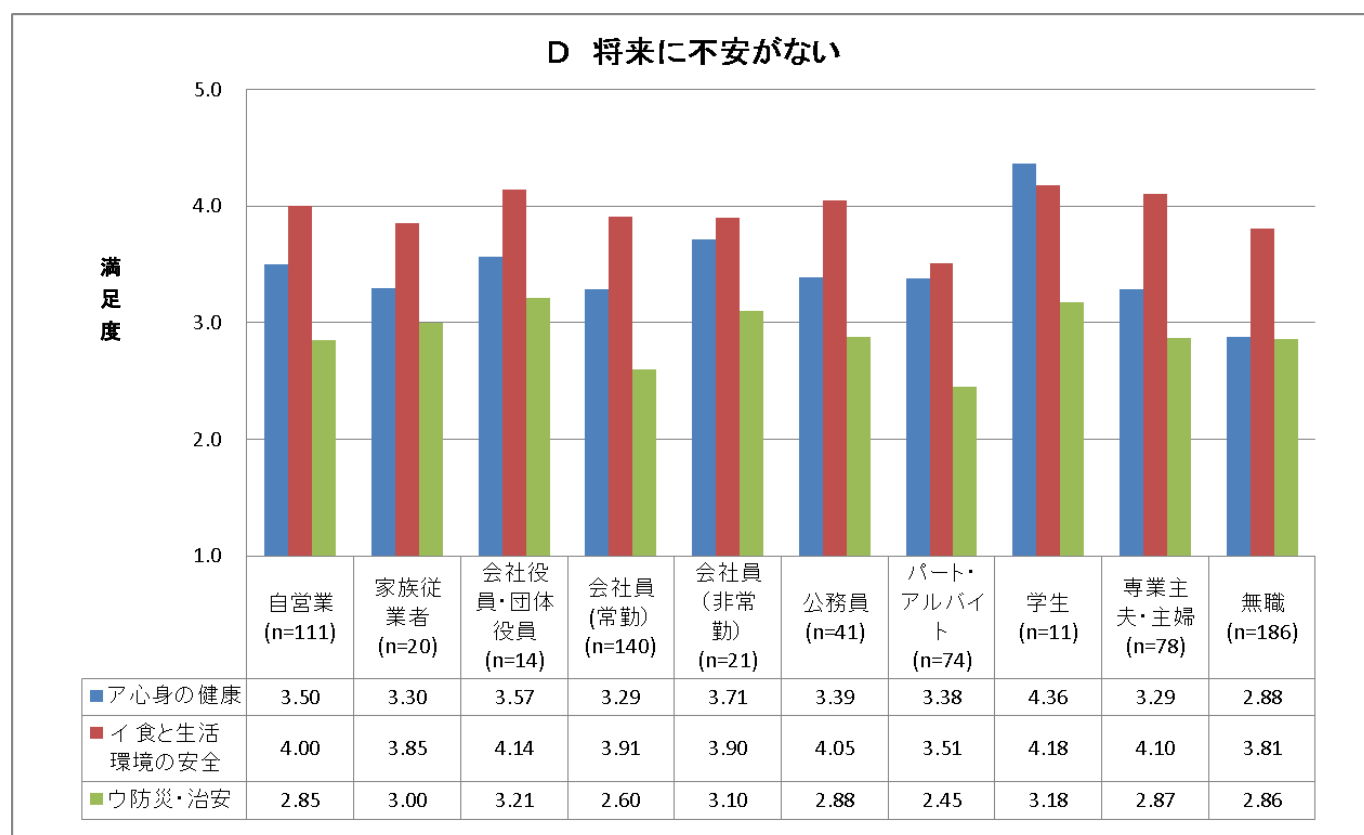
「会社役員・団体役員」のみが「イ 仕事関係」が最上位だが、他の職業はすべて「ア 家族関係」が最上位である。



どの職業も「ア 自然環境」が最上位であるが、2位と3位の順位は職業によってばらつきがうかがえる。



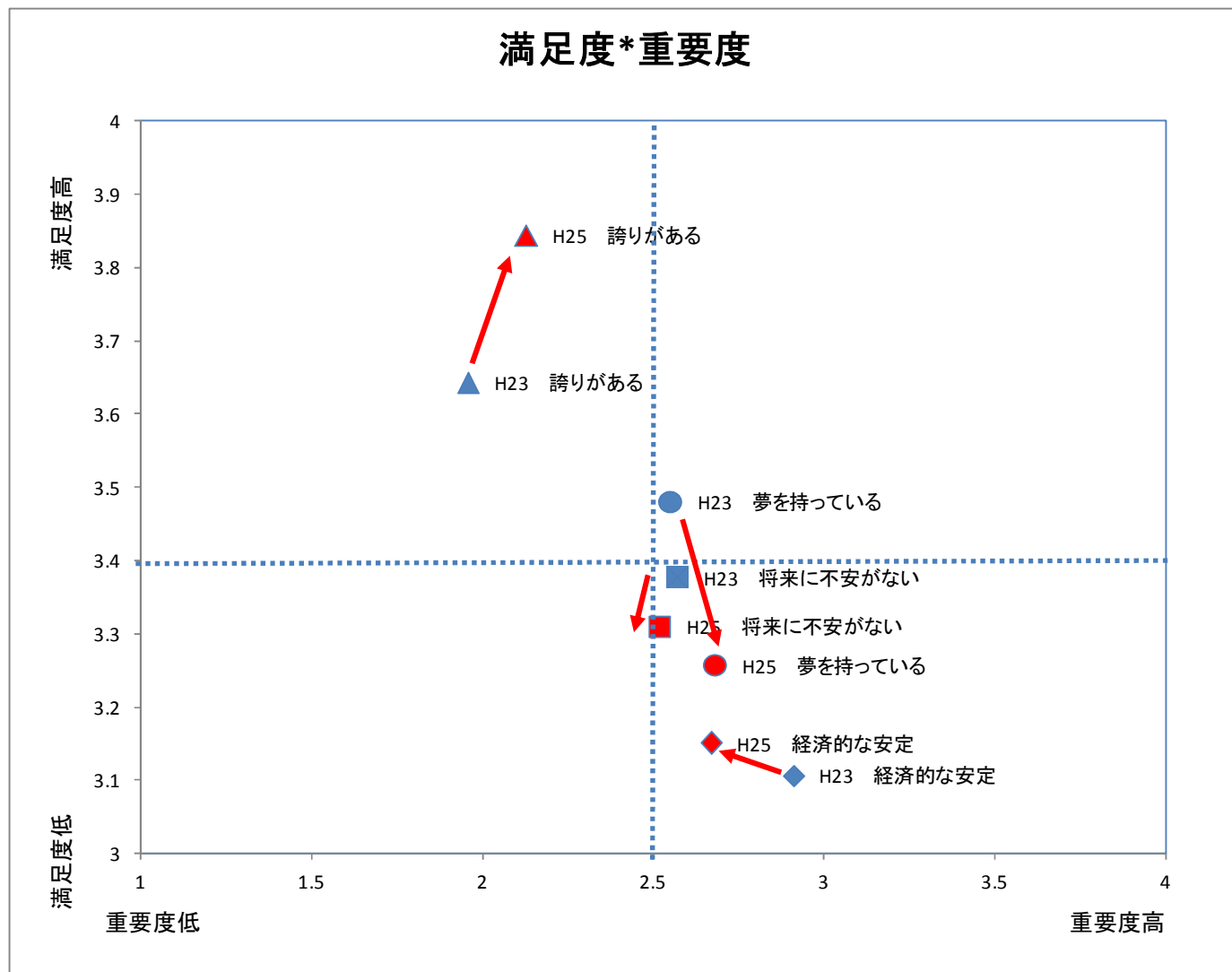
ほとんどの職業で「ウ 住まい」が最上位となったが、「公務員」のみ「ア 家計所得」が最上位であった。



学生はサンプル数が少ないので正確性にやや難があるが、他の職業では「イ 食と生活環境の安全」が最上位

であるのに比べ、学生は「ア 心身の健康」が最上位である。

12 の項目の満足度の平均値を 4 つの分野ごとに算出し、重要度の平均値とともに示したものが以下のとおりである。図中の点線は、平成 23 年度及び 25 年度のすべての満足度平均、すべての重要度平均を示している。



(3) 市民総幸福量の算出

① 算出方法・結果

調査結果にもとづき、各幸福要因に関する満足度と重要度を用いて、次の手順により、市民総幸福量を算出した。

【手順】

- 1) 満足度、重要度の平均値を算出する。
- 2) 設問項目ごとの満足度を「4つの分類」別に合算する。
- 3) 「4つの分類」別に合算した満足度に分類ごとの重要度を乗じて合算する
- 4) 3)を合算して、最高を100に換算

A 夢を持っている	重要度	満足度計	項目	満足度
	2.68	9.77	家族関係	3.86
			仕事関係	3.17
			教育関係	2.74

B 誇りがある	重要度	満足度計	項目	満足度
	2.13	11.53	自然資源	4.15
			歴史・文化	3.57
			地域社会とのつながり	3.81

C 経済的な安定	重要度	満足度計	項目	満足度
	2.67	9.45	家計所得	2.82
			消費活動	3.02
			住まい	3.61

D 将来に不安がない	重要度	満足度計	項目	満足度
	2.52	9.93	心身の健康	3.24
			食と生活環境の安全	3.9
			防災・治安	2.79

$$\begin{aligned}
 \text{市民総幸福量} &= A(\text{満足度計} \times \text{重要度}) + B(\text{満足度計} \times \text{重要度}) + C(\text{満足度計} \times \text{重要度}) \\
 &\quad + D(\text{満足度計} \times \text{重要度}) \\
 &= (9.77 \times 2.68) + (2.13 \times 11.53) + (2.67 \times 9.45) + (2.52 \times 9.93) \\
 &= 101.00
 \end{aligned}$$

⇒ 67.3

平成 25 年度の県民総幸福量は 68.4

平成 23 年度の市民総幸福量は 67.4 であった。

天草市の市民総幸福量は、平成 23 年度と比較するとほぼ横ばい。平成 25 年度の県民総幸福量と比較すると、若干低い。

4 まとめ

(1) 単純集計結果より

①直観的な幸福度

約7割が幸福だと感じている。平23年度と比べると、幸福を「感じている」あるいは「感じていない」、特に「感じていない」の割合が低下して「どちらでもない」が7ポイント上昇。

②“4つの分類”のウエイト(重要度)

平成25年度の県調査と比べると、本市は「B 誇りがある」の平均値が県平均値よりやや高い。また、平成23年度と比較すると、「C 経済的な安定」と「D 将来の不安」のウエイトが下がり、「B 誇りがある」と「A 夢を持っている」のウエイト(重要度)が上昇している。

	H25 年度 平均値	平成 25 年度県平均との比較
		平成 23 年度との比較
A 夢を持っている	2.68	県平均値 2.72。本市がやや低い。
		23 年度平均値 2.55。5 点以上が増え、4 点以下特に 3 点が減少して平均値もやや上昇。
B 誇りがある	2.13	県平均値 2.01。本市が高い。
		23 年度平均値 1.96。1 点が少なく、2 点以上が増加して平均値もやや上昇。
C 経済的な安定	2.67	県平均値 2.75。本市がやや低い。
		23 年度平均値 2.91。1～2 点が増加し、3 点以上は減少の傾向がうかがえ、ウエイトダウン。
D 将来に不安がない	2.52	県平均値 2.52 で本市と同水準。
		23 年度平均値 2.57 で、ほぼ同水準だが、1～2 点と 5 点以上が増加し 3～4 点以上は減少の傾向も。

③“12の項目”に対する満足度(実感や考え)

県の調査では、「D 将来に不安がない」に対する項目「防災・治安(2.70)」が各項目の中で最も満足度が低い項目であったが、天草市の場合は「A 夢を持っている」の項目「教育環境」についての満足度が2.74で最も低かった。

A 夢を持っている	「夢を持っている」に対する満足度では、「家族関係」が3.86で最も高く、次に「仕事関係」3.17、「教育環境」2.74であった。(県調査では、「家族関係」3.90に続き、「仕事関係」3.20、「教育環境」3.10の順)
B 誇りがある	「誇りがある」に対する満足度では、「自然資源」が4.15で最も高く、“4つの分類”の各項目の中でも最も高かった。次に「地域社会とのつながり」3.81、「歴史・文化」3.57。(県調査では、「自然資源」4.30に続き、「歴史・文化」3.80、「地域社会とのつながり」3.70の順)
C 経済的な安定	「経済的な安定」に対する満足度では、「住まい」が3.61で最も高く、次に「消費活動」3.02、「家計所得」2.82。(県調査では、「住まい」3.60に続き、「消費活動」3.10、「家計所得」2.90の順)
D 将来に不安がない	「将来に不安がない」に対する満足度では、「食と生活環境の安全」が3.90で最も高く、次に「心身の健康」3.24、「防災・治安」2.79。(県調査では、「食と生活環境の安全」3.80に続き、「心身の健康」3.30、「防災・治安」2.70の順)

④天草市民の平成25年度の総幸福量は、67.3

(2) クロス集計結果より

性別

- ①直観的な幸福度 女性＞男性（県調査と同じ傾向あり）
- ②“4つの分類”のウエイト(重要度) 男女間に差異なし
- ③“12の項目”に対する満足度(実感や考え) 男女間に差異なし

年代別

- ①直観的な幸福度 年代別に差異なし
- ②“4つの分類”のウエイト(重要度) 20 歳代から 30 歳代及び 60 歳代は「A 夢を持っている」が最上位。40 歳代から 50 歳代は「C 経済的な安定」が最上位。70 歳代以上は「将来に不安がない(健康や防災などの安心)を幸福要因と考えている。
 - ② 12の項目”に対する満足度(実感や考え) A～C のどの分野でも年代による差異はあまり大きくなかったが、「D 将来に不安がない」について、「ア 心身の健康」は 20 歳代をピークに年齢が上がるにつれて下がり、「イ 食と生活環境の安全」は 40 歳代から、「ウ 防災・治安」は 30 歳代から年齢が上がるほど満足度が上昇する傾向がうかがえた。

地域別

- ①直観的な幸福度 どの地域も過半数(概ね 6～8 割)の人が直観的に「幸福であると感じている」ようすがうかがえたが、トップの栖本(83.3%)と河浦(61.6%)では 21.7%の開きがあった。
 - ③ 4つの分類”のウエイト(重要度)
 - 「C 経済的な安定」が最上位 次いで「A 夢を持っている」 天草・本渡
 - 「A 夢を持っている」が最上位、次いで「C 経済的な安定」 倉岳・栖本・新和
 - 「A 夢を持っている」が最上位、次いで「D 将来に不安がない」 河浦・有明・牛深
 - 「C 経済的な安定」が最上位、次いで「将来に不安がない」 五和
 - 「B 誇りがある」が最上位、次いで「C 経済的な安定」 御所浦
 - ④ 12の項目”に対する満足度(実感や考え)
 - 新和…「教育環境」の満足度が他の地域に比べて低い。
 - 栖本…「自然環境」と「歴史・文化」の満足度が他の地域に比べて高い。

職業別

①直観的な幸福度 職業によってばらつきあり。学生を除くと、会社員(非常勤)の幸福度は高く、パート・アルバイトは低く、その差は 26.1 ポイント。

②“4つの分類”のウエイト(重要度)

「C 経済的な安定」が最上位 次いで「A 夢を持っている」 自営業、会社員(常勤)

「A 夢を持っている」が最上位、次いで「C 経済的な安定」、「D 将来に不安がない」の順 パート・アルバイト、学生、専業主夫(婦)

「D 将来に不安がない」が最上位、次いで「C 経済的な安定」 公務員、家族従業者

「A 夢を持っている」が最上位、次いで「C 経済的な安定」、「B 誇りがある」の順 会社役員・団体役員

「A 夢を持っている」が最上位、次いで「D 将来に不安がない」、「B 誇りがある」の順 会社員(非常勤)

「C 経済的な安定」が最上位、次いで「D 将来に不安がない」、「A 夢を持っている」の順 無職

③“12の項目”に対する満足度(実感や考え)

会社役員・団体役員…「仕事関係」の満足度が他の職業に比べて高い

公務員…「家計所得」の満足度が他の職業に比べて高い

学生…他の職業は「食と生活環境の安全」の満足度が高いが、「心身の健康」の満足度が目立つ。

2014 市民アンケート調査 (市民の幸福に関する意識調査)

～ 市民アンケート調査へのご協力のお願い ～

日頃より市政の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この調査は、市民全体の幸福（市民幸福量）に関係すると考えられる様々な項目について市民の皆さまの実感やお考えなどをおたずねし、明らかにすることで、市全体の幸福量をより増やしていくための施策につなげていくことを目的として実施するもので、昨年5月に熊本県が実施した「県民の幸福に関する意識調査」と同様の内容となっております。

調査対象者の選定にあたりましては、市内にお住まいの20歳以上の方々の中から2,000名を無作為に選び、この調査票を送付しております。

つきましては、お忙しい中大変恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成26年1月

天草市長 安 田 公 寛

調査票へのご記入にあたって

- アンケートへの回答は、封筒のあて名の方ご本人でお願いします。
(ご本人でのご記入が困難な場合は、代筆でもかまいません。)
- 回答は、黒の鉛筆又はボールペンなどで、この調査票に直接記入してください。
- 質問は問1から問8まであります。できるだけすべての質問に回答いただきますようお願いいたします。ただし、内容がわからない質問や、回答したくない質問には、回答されなくてもかまいません。(回答していないところがあっても、そのまま返送してください。)
- 記入が終わったら、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに平成26年1月20日(月)までに郵便ポストに投函してください。
- ご回答いただいた内容は、無記名で集計・分析しますので、回答者個人を特定する情報はわからない仕組みになっています。

■ お問い合わせ先

天草市総合政策部政策企画課 企画調整係 担当：向田、森

電 話 0969-23-1111 (内線1316)

ファックス 0969-24-3501

電子メール kikaku@city.amakusa.lg.jp

1 あなたの幸福度についておたずねします。

問1 現在、あなたは幸せだと感じていますか。

最も当てはまるものを1つ選んで、番号に「○」をつけてください。

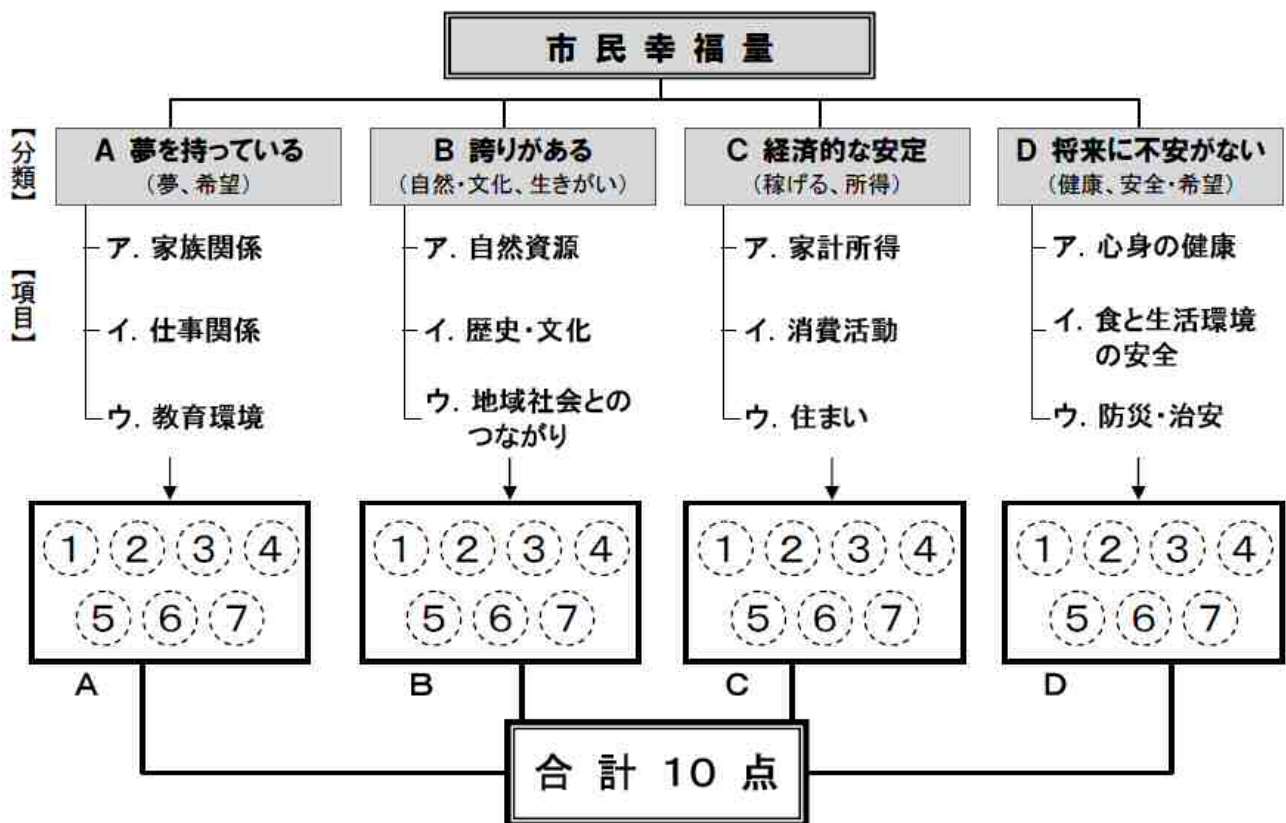
- | | | |
|-------------------|------------|------------|
| 1. 感じている | 2. やや感じている | 3. どちらでもない |
| 4. どちらかといえば感じていない | 5. 感じていない | |

2 幸福量の“4つの分類”の重要度についておたずねします。

問2 市民全体の幸福(市民幸福量)は、下の図(A、B、C、Dの“4つの分類”とア、イ、ウの“12の項目”)のような構成で捉えています。

あなたの幸福の全体を「10」点としたとき、A～Dの“4つの分類”の重要度(どれを重視するか)の度合い、重みづけ)は、それぞれ何点になりますか。1～7の数字を1つ選んで、「○」をつけてください。

※ 選んだ数字の合計が「10」点になるようにお願いします。



A、B、C、Dの合計は、10点になります。

3 あなたの実感や考えについておたずねします。

問3 次のそれぞれの項目について、最も当てはまるものを1つ選んで、番号に「○」をつけてください。

【A 夢を持っている】

ア 家族関係

あなたは、家族で叶えたいことや、家族に叶えてもらいたいことなど、家族のことで将来の夢を持っていますか？

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. 持っている | 2. 少し持っている | 3. どちらでもない |
| 4. あまり持っていない | 5. 持っていない | |

イ 仕事関係

あなたは、仕事※のことで将来の夢を持っていますか？

※仕事……パート・アルバイトや社会参加活動、ボランティア活動などを含む

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. 持っている | 2. 少し持っている | 3. どちらでもない |
| 4. あまり持っていない | 5. 持っていない | |

ウ 教育環境

あなたは、将来の夢の実現に向けて学べる環境にあると感じていますか？

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. 感じている | 2. やや感じている | 3. どちらでもない |
| 4. あまり感じていない | 5. 感じていない | |

【B 誇りがある】

ア 自然資源

あなたは、地域の自然※を素晴らしいと感じていますか？

※地域の自然……山、海、河川、森林など

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. 感じている | 2. やや感じている | 3. どちらでもない |
| 4. あまり感じていない | 5. 感じていない | |

イ 歴史・文化

あなたは、地域の歴史や文化※に誇りを感じていますか？

※地域の歴史や文化……歴史的な建造物や史跡、伝統芸能、伝承文化、芸術文化など

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. 感じている | 2. やや感じている | 3. どちらでもない |
| 4. あまり感じていない | 5. 感じていない | |

ウ 地域社会とのつながり

あなたは、地域社会とのつながり※を感じていますか？

※地域社会とのつながり……近所づきあい、地域の行事・ボランティア活動への参加、友人・知人との交流など

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. 感じている | 2. やや感じている | 3. どちらでもない |
| 4. あまり感じていない | 5. 感じていない | |

【C 経済的な安定】

ア 家計所得

あなたは、必要な所得や収入が得られていると感じていますか？

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. 感じている | 2. やや感じている | 3. どちらでもない |
| 4. あまり感じていない | 5. 感じていない | |

イ 消費活動

あなたは、必要なモノやサービス※を購入できていると感じていますか？

※サービス……レジャーや余暇活動を含む

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. 感じている | 2. やや感じている | 3. どちらでもない |
| 4. あまり感じていない | 5. 感じていない | |

ウ 住まい

あなたは、今の住まいに快適さやゆとりを感じていますか？

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. 感じている | 2. やや感じている | 3. どちらでもない |
| 4. あまり感じていない | 5. 感じていない | |

【D 将来に不安がない】

ア 心身の健康

あなたは、こころやからだ健康だと感じていますか？

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. 感じている | 2. やや感じている | 3. どちらでもない |
| 4. あまり感じていない | 5. 感じていない | |

イ 食と生活環境の安全

あなたは、食べ物や地域の生活環境が安全※だと感じていますか？

※地域の生活環境が安全……水や空気がきれい、土壌が汚染されていない、騒音が少ないなど

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. 感じている | 2. やや感じている | 3. どちらでもない |
| 4. あまり感じていない | 5. 感じていない | |

ウ 防災・治安

あなたは、災害や防犯に対する備え※ができていると感じていますか？

※災害や犯罪に対する備え……防災・防犯グッズの用意等の個人の取組み、見回り活動等の地域の取組み、ソフト・ハード面の行政の対策など

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. 感じている | 2. やや感じている | 3. どちらでもない |
| 4. あまり感じていない | 5. 感じていない | |

4 あなたご自身のことについて、おたずねします。

当てはまる番号に「○」をつけてください。

問4 あなたの性別はどちらですか。

1. 男 性	2. 女 性
--------	--------

問5 あなたの年齢(平成26年1月1日現在)はどれにあたりますか。

1. 20～29歳	2. 30～39歳	3. 40～49歳
4. 50～59歳	5. 60～69歳	6. 70歳以上

問6 あなたのお住まいの地域はどこですか。

本 渡	1 本 渡 南	有 明	18 須 子	新 和	35 大 多 尾
	2 本 渡 北		19 赤 崎		36 中 田
	3 亀 場		20 上 津 浦		37 碓 石
	4 栢 宇 土		21 下 津 浦		
	5 志 柿		22 島 子		
	6 下 浦	御所浦	23 御 所 浦	五 和	38 御 領
	7 楠 浦		24 御所浦南		39 鬼 池
	8 本 町		25 牧 島		40 二 江
	9 佐 伊 津		26 御所浦北		41 手 野
	10 宮 地 岳		27 嵐 口		42 城 河 原
牛 深	11 牛 深	倉 岳	28 浦	天 草	43 福 連 木
	12 久 玉		29 棚 底 田		44 下 田 北
	13 深 海		30 宮 田		45 下 田 南
	14 魚 貫 浦	栖 本	31 栖 本		46 高 浜 江
	15 二		32 小 宮 地		47 大
有 明	16 楠 甫 浦	新 和	33 宮 南	河 浦	48 一 町 田
	17 大 浦		34 大 宮 地		49 新 合
					50 富 津
					51 宮野河内

問7 あなたのご職業を教えてください。

- | | | | |
|-------------|----------|--------------|------------|
| 1. 自営業 | 2. 家族従業者 | 3. 会社役員・団体役員 | 4. 会社員(常勤) |
| 5. 会社員(非常勤) | 6. 公務員 | 7. パート・アルバイト | 8. 学生 |
| 9. 専業主夫・主婦 | 10. 無職 | 11. その他 | |

5 あなたが考える幸福を高めるために必要なことについて

問8 あなたは、ご自分の幸福を高めるために、どのようなことが必要、または重要だとお考えですか。あなたのお考えを、お聞かせください。

質問は以上です。

ご協力ありがとうございました!!